

平成25年度

—地球環境を守る大阪府民のローカルアジェンダ21—

豊かな環境づくり大阪行動計画

平成25年6月

豊かな環境づくり大阪府民会議

はじめに
～ 計画の背景と構成 ～

1992年（平成4年）6月に、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで「環境と開発に関する国連会議（地球サミット）」が開催され、人類が21世紀に向けて持続可能な発展をめざす行動計画である「アジェンダ21」が採択されました。その中では、各地方自治体において、当該地域住民が主体の地球環境保全に向けた行動計画である「ローカルアジェンダ21」の策定が求められています。

大阪府では「人のこころがかよいあう豊かな環境の保全と創造」をめざして、平成6年3月に「大阪府環境基本条例」を制定するとともに、同年11月に「豊かな環境づくり大阪府民会議」を発足いたしました。

府民会議では、平成7年6月に「地球環境保全行動指針—身近な環境 愛する心と行動が地球環境を守る」を策定するとともに、平成8年6月には、実践活動を具体的に推進するため、「豊かな環境づくり大阪行動計画—地球環境を守る大阪府民のローカルアジェンダ21—」を策定しました。この「行動計画」では、府民会議構成団体の具体的な実践活動を体系化するとともに、情報交流や活動を奨励・支援する事業を盛り込み、年度毎の計画の点検・見直しを行っています。

行動計画においては、「低炭素社会への転換」、「循環型社会の構築」、「自然と調和したまちづくり」の3つを共通テーマに掲げて、豊かな環境づくりを進めてまいります。

また、共通テーマに基づき府民会議が主体となって取り組む重点行動のテーマに「家庭や学校・職場における省エネの取組みの推進」を掲げ、様々な事業を通じて、省エネルギーに向けた府民の意識啓発や実践行動の促進に努めてまいります。

とりわけ平成25年度は、大阪府内の大学において、積極的な創意工夫により行われている省エネ、省資源又は自然環境保全の取組みを取りまとめて紹介する「発掘！おおさかエコ事典」事業を実施し、情報発信を通じて環境啓発につなげていきます。

さらに、府民会議の各構成団体においても、3つの共通テーマに沿って設定した30項目の重点行動の中から各構成団体が自主的に選択した取組みを今年度も実施してまいります。節電に関しましても、府民や事業者に対する節電方法の周知・啓発等に加え、府民会議の各構成団体においても一層の節電に取り組めます。

目 次

【本 編】

第1章 基本理念・目標

1 平成25年度の府民会議の活動方針について	1
------------------------	---

第2章 実践活動

1 平成25年度の府民会議主体の実践活動	3
2 平成24年度の府民会議主体の活動の報告	7
3 府民会議構成団体の活動	15

【資料編】

地球環境保全行動指針	39
大阪21世紀の新環境総合計画（概要）	49
大阪府及び市町村の環境保全に係る取り組み状況	51
豊かな環境づくり大阪府民会議規約	65
豊かな環境づくり大阪府民会議委員名簿	66
豊かな環境づくり大阪府民会議構成団体の連絡先	68
豊かな環境づくり大阪府民会議の活動経過	70
かんきょう交流Roomのご案内	75

【本 編】

第1章 基本理念・目標

1 平成25年度の府民会議の活動方針について

都市・生活型公害や地球環境問題など、社会経済システムやライフスタイルに起因する今日の環境問題を解決するためには、府民、事業者、行政がそれぞれの立場に応じて豊かな環境の保全と創造に資する自主的な活動に主体的に取り組むことが重要となっています。

このため、豊かな環境づくり大阪府民会議では、年度ごとに行動計画を策定して、豊かな環境づくりに向けた行動を方向づけるとともに、①調整・連携する、②意見交換する、③創造する、といった「3つのC」（※下記参照）の役割を担うことにより、各主体の自覚による豊かな環境づくりに向けた行動が定着した社会の実現を目指しています。

※「3つのC」とは

Coordinate 調整・連携する

Communicate 意見交換する

Create 創造する

また、豊かな環境づくり大阪府民会議では、環境問題などの解決に向けて、構成団体が共通認識のもとに、効果的に取り組みを進めていくため、特に取り組む課題として“共通テーマ”を掲げ、その共通テーマの実現に向けた具体的な行動として、府民会議構成団体が協働して取り組む“重点行動”を設定しています。

“共通テーマ”は、基本理念に基づいて、①環境をめぐる社会的状況から行動を起こしていく必要性、緊急性が認められるもの、②行動の輪を府民、事業者に広げていくことが求められるもの、③府民会議の構成団体が共通認識のもとに具体的な行動を独自におこしていくことが可能なもの、という3つの観点から設定しています。

そして、共通テーマの実現に向けた具体的な取り組みとして、“重点行動”（30項目）を設定し、府民会議構成団体が率先して取り組むとともに、広く府民に対して啓発普及を図っています。

また、府民会議が主体となって取り組んだ場合に効果が大きいと思われるものに焦点をあて、「府民会議が主体となって取り組む重点行動」として関連する事業を展開しています。

豊かな環境づくり大阪行動宣言

一地球環境保全行動指針に基づき、豊かな環境づくりに向けて行動を起こすことを宣言します。一

身近な環境を歩いて、見て、感じ、私たちの環境がどのようなものであれよいかを考え、自らの日々の活動との関わりを見つめて、行動目標を定めます。

豊かな環境づくりに向けた行動目標の実現を目指し、具体的な実践活動に取り組むとともに、行動の輪を府民、事業者に広げていきます。

行動した結果を点検するとともに、情報交流や環境学習などを通じて、豊かな環境づくりに向けた行動がより創意工夫に富んだものに改善されるよう努めます。

基本理念

環境に配慮した暮らし・事業活動

大阪における高度な経済活動・都市活動は、地域の環境はもとより、地球環境に対しても重大な影響を与えています。私たちの日常の生活様式や事業活動が、環境に影響を与えていることを十分認識し、資源・エネルギーの消費を抑制するとともに、循環的な利用の徹底等によって、環境への負荷を低減するため、行動します。

自然と共生する社会づくり

自然は、生態系の保全、都市の気候緩和、緑い・やすらぎの場の提供など、様々な恵みを私たちに与えてくれます。自然の一端である私たちは、自らの命・生活・心のよりどころである自然と地球的視野にたつて守り育て、自然と人が共生する社会づくりに向けて、行動します。

ゆとりと潤いのある

美しいまちづくり

大阪では、新たな交流の時代を迎えて、生活環境の質を高め、世界都市にふさわしい魅力と個性、風格を備えたまちづくりが求められています。豊かで潤いのある緑や水辺の空間を確保し、美しい景観を創造するとともに、歴史的・文化的遺産が保全・活用された大阪らしい文化の香りあふれるまちを形成するため、行動します。

平成25年度 共通テーマ

循環型社会の構築

廃棄物の発生抑制や資源の循環的な利用等により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減するため、一人ひとりのライフスタイルや社会経済活動の転換に向けた取り組みを進めていきます。

低炭素社会への転換

化石エネルギー依存から脱却し、地球温暖化の主因である二酸化炭素の排出抑制を徹底する。低炭素社会への転換を図るため、ビジネススタイルやライフスタイルの変革に繋がる取り組みを進めていきます。

自然と調和したまちづくり

都市化が進んだ大阪において、各主体の協働のもと、身近な自然環境を保全・再生し、豊かな水辺環境やみどりなどの空間を確保することによって、生物の多様性が保たれ、ヒートアイランド現象が緩和され、自然と調和した地域づくりに向けた取り組みを進めていきます。

府民会議構成団体が取り組む3.0の重点行動

I グリーン購入の推進

- 1 エコマーク商品や大阪府認定リサイクル製品など環境にやさしい商品を選択的に購入する。
- 2 トレーサブルを使用しない商品や詰め替え商品、ばかり売り商品などを避ける。
- 3 買い物にはマイバックを持参し、レジ袋を受け取らない。
- 4 職場などで使用する事務用品等のグリーン購入を徹底する。
- 5 環境にやさしい商品の開発、販売や環境ラベリングの表示を促進する。

II ごみ減量化・リサイクルの推進

- 6 簡易包装の徹底や、古着・中古品等のリユースにより、ごみの発生を抑制する。
- 7 分別を徹底し、集団回収や店頭回収、市町村の分別収集に協力する。
- 8 使用済み家電品の適正なリサイクルに取り組む。
- 9 職場での紙の使用量削減やリサイクルに取り組む。
- 10 イベントの実施にあたってはごみの排出を抑制し、ごみの持ち帰り、分別等を徹底する。

III 家庭や学校・職場での省エネ・新エネの推進

- 11 家庭や学校・職場での照明やOA機器等のこまめなスイッチオフを徹底する。
- 12 使用していない電気製品は主電源を切り、待機電力の消費量を減らす。
- 13 水の大切さを認識し節水を徹底する。
- 14 冷暖房の適正な温度設定を徹底する。
- 15 家電製品の給湯器等の買い替え時には省エネ性能の高い製品を選択する。
- 16 建物への太陽光発電等の新エネ設備の導入や断熱材や複層ガラス等による高断熱化を進める。

【実施方法】

- ①府民会議各構成団体は重点行動メニューの中から実施する行動を1つないし複数選択し、それに基づき取組みを決め、下部組織にも取組みを呼びかけます。
- ②後日、府民会議全体での実施状況を把握します。

IV 自動車使用の原住しエコドライブの推進

- 17 公共交通機関や自転車・徒歩を利用し、不要不急の自動車使用を自粛する。
- 18 ふんわりアクセル発進、減速時の早めのアクセルオフ、不要不急イディングの停止等を徹底する。
- 19 タイヤの空気圧チェックなど、車の整備・点検を徹底する。
- 20 買い替え時にはハイブリッド車や超低燃費車等の環境に配慮した車を購入する。
- 21 イベントの実施にあたっては、公共交通機関を優先した会場経路の確保に努める。

V 自然環境の保全とふれあいの推進

- 22 身近な自然を見つめなおして、自然の大切さを考える。
- 23 野鳥や植物などの観察会等を通じ、自然とふれあう機会を増やす。
- 24 森林や里山などの自然体全活動に取り組む。
- 25 河川や海岸の美化、清掃活動などへ積極的に参加する。
- 26 自然の中で行う行事や活動では不必要な草木の採取や自然を破壊しないことを徹底する。
- 27 農産物や水産物の地産地消や農業者体験等を通じ、いのちを育む豊中間や海の重要性を考える。

VI 緑化の推進

- 28 花や草木の栽培、生垣の設置など身近な場所での緑化に取り組む。
- 29 地域の緑化や緑化活動等に積極的に参加する。
- 30 建物・工場などの屋上・壁面や敷地内の緑化に取り組む。

府民会議が主体となって取り組む重点行動

「家庭や学校・職場における省エネの取組みの推進」
※特に、より一層の節電に向けた取組みを推進します。

平成25年度 府民会議主体の実践活動
⇒3頁～6頁参照

平成25年度 構成団体の活動
⇒15頁～38頁参照

平成25年度 構成団体の活動目標

(URL)

<http://www.pref.osaka.jp/chiikyukankyo/room/keikaku.html>に掲載

株菜キープワード「かんきょう交流ルーム」で検索し、「府民会議の取り組み」→「豊かな環境づくりに大坂計画」→「構成団体の平成24年度の活動実績」及び平成25年度の活動目標を参照

第2章 実践活動

1 平成25年度の府民会議主体の実践活動

大阪府域においては、家庭やオフィス系職場における二酸化炭素の排出量が大幅に増加していることから、府民会議では、二酸化炭素の排出抑制を徹底する低炭素社会への転換に向けて、家庭や学校・職場において、ビジネススタイルやライフスタイルの変革につながるエコ・アクションの実践を促進する取組みを行っていきます。

また、府民会議として、より一層の節電に向けた取組みを推進します。

(参照) 府民会議のホームページ “かんきょう交流Room”

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/index.html>

(1) 府民会議が実施する事業

ア 「発掘！おおさかエコ事典」事業の実施

趣旨	大阪府内において、積極的な創意工夫により行われている省エネ、省資源又は自然環境保全の取組みを募集し、その取組みを取りまとめ『おおさかエコ事典レポート』としてとして府民会議ホームページで広く府民に紹介し、取組みを広めていきます。 大学編として、大阪府内の「大学」におけるゼミ又はサークルの取組みを対象とし、学生の環境活動を発信して、多くの同世代の若者への環境活動につなげていきます。
期間	募集開始：平成25年7月上旬から ホームページ掲載：応募があり次第随時掲載
内容等	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府内において、積極的な創意工夫により行われている省エネ、省資源又は自然環境保全の取組みを募集します。 応募のあった取組みを取りまとめ『おおさかエコ事典レポート』としてとして府民会議ホームページで広く府民に紹介します。

イ 「環境壁紙コレクション」事業の実施

趣旨	「省エネの取組みを推進しよう！」をテーマに、パソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品を府民会議ホームページに掲載して、好みのデザインの作品を閲覧した誰もが気軽にダウンロードできるようにすることにより、環境に関する啓発を行います。
期間	募集：平成25年6月～8月、HP掲載：平成25年9月～、表彰：平成26年3月
内容等	<ul style="list-style-type: none"> 「スマートな（賢い）省エネ型ライフスタイル」をテーマに、構成団体の会員をはじめ広く一般の府民等からパソコンの壁紙作品を募集します。 応募作品を府民会議ホームページに掲載し、「学生部門」「社会人部門」を設け、それぞれに優れたデザインの作品を府民会議で数点選び、表彰します。 <p>(参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/collection_gallery.html</p>

ウ 「おおさか環境賞」の実施

趣旨	自主的かつ積極的に、他の模範となる環境の保全又は創造に資する活動に取り組んでいる個人、団体、事業者に対し、その活動を賞し奨励することを通じて、豊かな環境づくりに向けた行動の輪を広げることを目的として実施します。
時期	推薦受付：平成25年4月中旬～6月中旬、選考：平成25年7月、表彰式：平成25年8月下旬
内容等	・府民会議の構成団体等が候補者を推薦し、「大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会」での選考を経て、大賞、準大賞、特別奨励賞、奨励賞が授与されます。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/prize.html

エ 「環境にやさしい買い物キャンペーン」の実施

趣旨	日常の買い物において誰もが身近に行えるグリーン購入の実践を通じて、府民や事業者等が環境との関わりを深く認識し、環境に配慮した生活や経済活動を実践するための契機とすることを目的に、国や各都道府県と協働してキャンペーンを実施します。 府民会議構成団体の協力を得ながら、より多くの店舗・業種に参加を呼びかけ実施します。
期間	平成25年10月1日～10月31日
内容等	府内の事業者（参加各店舗）等に対し、特に次の取り組みを働きかけます。 ・キャンペーンポスター等の掲示による消費者への啓発 ・「環境に配慮した商品」の販売や、「量り売り」の実施 ・簡易包装の実施、買い物袋持参の奨励 など (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/kaimono.html

オ 府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の発行

趣旨	府民会議や構成団体の活動を府民等に対して広報するため、電子広報誌「かんきょう夢ひろば」を発行し、活動の紹介やイベント情報等の発信を行います。
期間	年4回程度
内容等	・ホームページ上に掲載する形で発行します。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/hiroba_back.html

カ 府民会議のホームページ「かんきょう交流Room」の運営

趣旨	インターネットを活用して、府民会議や構成団体の活動を府民等に対して広報するため、府民会議独自のホームページ「かんきょう交流Room」を運営します。
期間	通年
内容等	・「豊かな環境づくり大阪行動計画」の掲載や、「おおさか節電チャレンジSHOP」、「環境壁紙コレクション」といった府民会議の独自事業の紹介を行っています。 (参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/index.html

(2) 各種キャンペーン等への参加等

ア 「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みへの参加

趣旨	関西広域連合の提唱のもと、事務所・会議室の適正冷房（28℃）の徹底や、軽装の奨励などにより、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図ることを目的に実施される取組みに参加します。
期間	平成25年5月1日～10月31日
内容等	・適正冷房の徹底や軽装の奨励について、府民会議構成団体への周知を図り、構成団体の会員等に対して取組みへの積極的な参加を促します。

イ 「ライトダウンキャンペーン」・「ウォームビズ」の取組みへの参加

趣旨	環境省の提唱のもと、日頃いかに照明を使用しているかを実感し、地球温暖化対策の実践の動機付けとしてもらうため、ライトアップ施設や家庭・職場の照明を消すように呼びかける「ライトダウンキャンペーン」に参加します。 また、冬季において、厚着の奨励などにより、事務所や会議室の適正暖房（自治体 19℃、民間 20℃）を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図ることを目的に実施される「ウォームビズ」の取組みに参加します。
期間	ライトダウン：平成25年6月21日～7月7日 ウォームビズ：平成25年11月1日～平成26年3月31日
内容等	<p><ライトダウン></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーンへの参加（環境省の専用サイトで登録）について、府民会議構成団体への周知を図り、積極的な登録を促します。 ・特別実施日である夏至（6月21日）の「夏至ライトダウン」と、七夕（7月7日：クールアースデー）の「七夕ライトダウン」について、府民会議構成団体の参加状況やCO₂削減量等を取りまとめ、ホームページで公表します。 （参考）http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/lightdown.html <p><ウォームビズ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正暖房の徹底について、府民会議構成団体への周知を図り、構成団体の会員等に対して取組みへの積極的な参加を促します。 ・府民会議構成団体のキャンペーンへの参加状況を取りまとめ、ホームページで公表します。 （参考）http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/warmbiz.html

ウ 「省エネラベルキャンペーン」(夏、秋冬)の周知等

趣旨	省エネ型家電製品の導入を誘導し、家庭におけるCO ₂ 排出量を削減するため、商品に添付して省エネ情報をわかりやすく提供する「省エネラベル」を普及させ、消費者に知ってもらうことを目的に、大阪省エネラベルキャンペーン実行委員会が実施しているキャンペーンの周知等を図ります。
期間	夏：平成25年6月～8月、秋冬：平成25年11月～平成26年1月
内容等	・府民会議構成団体を通じてその会員等に周知等を図ります。

エ 「グリーン購入セミナー」への参加

趣旨	グリーン購入の促進を啓発するため、大阪グリーン購入ネットワーク（大阪GPN）が開催する「大阪グリーン購入ネットワークセミナー」において、府民会議や構成団体の活動を紹介するとともに、グリーン購入についての理解を深めてもらうため、府民会議のネットワークを活用して広く参加者を募ります。
時期	平成25年秋～冬期
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪GPNにおいて、基調講演や事例発表などを内容とするセミナーが開催されます。 ・会場において府民会議や構成団体の活動を紹介するパネル展示を行います。 ・府民会議のネットワークを生かして広く参加者を募ります。 （参照） http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/seminar.html

オ 「ストップ地球温暖化デー」や各種イベント等の周知

趣旨	毎月16日の「ストップ地球温暖化デー」や、地球温暖化対策や省エネ行動の実践等に関するその他の各種イベントについて周知を図ります。
期間	随時実施
内容等	・府民会議や構成団体主催のイベント等において周知、啓発等を行います。

（3）大阪府環境保全活動補助事業への協力

趣旨	大阪府が、民間団体の環境保全活動を奨励することを目的として、先進的で他の模範となる環境保全活動に対して助成を行う事業について、府民会議としてその審査に協力します。
時期	募集：平成25年4月～5月、審査：平成25年6月、決定：平成25年7月
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業の審査が行われる「大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会」委員に府民会議の企画委員3名が就任しています。 （参照） http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html

2 平成24年度の府民会議主体の活動の報告

平成23年度に引き続き、積極的な創意工夫により節電の取組みを行っている府民に身近な店舗の節電の取組み等を府民会議ホームページで広く府民に紹介する「おおさか節電チャレンジSHOP」事業を実施しました。

環境に関するテーマに基づいて、パソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品を府民会議ホームページに掲載し、好みのデザインのもので誰もが気軽にダウンロードできるようにすることによって啓発につなげる「環境壁紙コレクション」事業を実施したほか、他の模範となるような環境保全活動に取り組んでいる団体・事業者に対して「おおさか環境賞」を授与し、顕彰しました。

また、グリーン購入の実践を通じて、府民や事業者が環境の関わりを認識し、環境に配慮した生活・経済活動を実践する契機としていただくことを目的に「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しました。

その他、国等の呼びかけに応じて参加した「ライトダウンキャンペーン」や「ウォームビズ」については、府民会議構成団体の参加状況を取りまとめて府民会議ホームページで公表したほか、「夏季の適正冷房と軽装勤務」、「省エネルギーキャンペーン」、「大阪グリーン購入ネットワークセミナー」等の各種キャンペーン等については、構成団体を通じてその会員等への周知を図り、積極的な参加と実践を促しました。

さらに、環境保全活動に取り組んでいる団体に対し補助金を交付する「大阪府環境保全活動補助事業」についても、事業実施に関して府民会議として協力しました。

こうした府民会議や府民会議構成団体の活動については、電子広報誌「かんきょう夢広場」（年4回発行）や、府民会議ホームページにおいて紹介しました。

平成24年度の夏は厳しい電力需給の見通しを受け、府民会議としても一層の節電に取り組みました。

(1) 「おおさか節電チャレンジSHOP」事業の実施

大阪府内において、積極的な創意工夫により節電の取組みを行っている府民に身近な店舗の節電の取組みや、実際にそれらの店舗を訪れて取組みを見聞してもらった感想などをまとめ、府民会議ホームページで広く府民に紹介する「おおさか節電チャレンジSHOP」事業を実施しました。

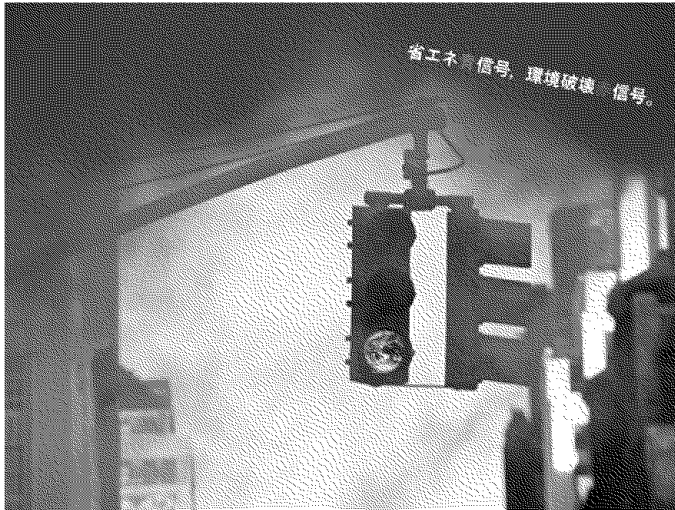
平成24年度は、摂津水都信用金庫・大池支店、豊里大橋支店、餃子の王将・吹田春日店の3店舗の取組みを紹介しました。

(2) 「環境壁紙コレクション」事業の実施

パソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品をホームページに掲載して、好みのデザインのものを読覧者の誰もが気軽にダウンロードできるようにすることにより環境に関する啓発につなげる「環境壁紙コレクション」事業を実施しました。

平成24年度は「省エネの取り組みを推進しよう！」をテーマに広く作品を募集したところ、40作品の応募があり、各作品の閲覧件数を参考に府民会議において最優秀作品を1点と優秀作品を4点選定し、表彰しました。

(参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/collection_gallery.html



＜最優秀作品賞＞受賞作
「省エネ赤信号、環境破壊青信号」

(3) 第16回「おおさか環境賞」の実施

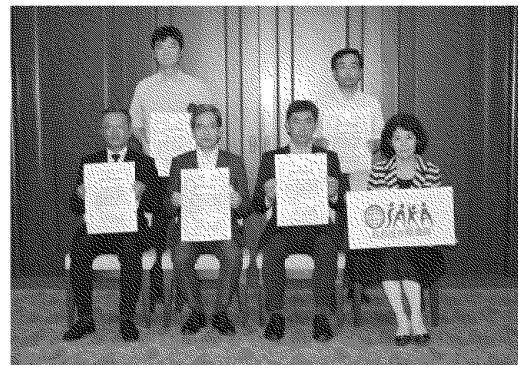
「おおさか環境賞」は、地球温暖化防止や自然との共生、快適環境の創造など、自主的かつ積極的に他の模範となる環境の保全又は創造に資する活動に取り組み、顕著な功績のあった個人・団体・事業者を、豊かな環境づくり大阪府民会議と大阪府が共同で表彰するものです。

平成24年度は、以下の方々が受賞され、平成24年8月28日に大阪府公館において表彰式を行いました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/prize.html>



(府民活動部門の受賞者の皆様)



(事業活動部門の受賞者の皆様)

<大賞> 事業活動部門 パナソニック株式会社エコソリューションズ社

【出前授業 「あかりのエコ教室」】

次世代を担う子供たちに「あかり」をテーマとした環境教育を小学校に出向き授業を実施されています。授業の内容は、学校での指導を意識した「説明・実験・話し合い・実践」を効果的に組み合わせたカリキュラムを設定し、身近なところでの消費電力が少ない「LED」の普及活動にもつなげています。

「あかり」という生活に身近なテーマをもって、ランプ交換によるごみの発生を視覚的に見せ、廃棄物の削減を啓発する授業内容となっており、また、家庭でもエコ活動ができるきっかけづくりを目指しているなど、環境活動として教育・啓発の面で高く評価されました。

<準大賞> 府民活動部門 エコライフかわちながの

【「自然との共生」の実践、啓発活動】

環境保全に基づく啓発及び実践活動として、食用廃油等からの石けん製造の指導のほか、石けん使用モニター募集による石けん使用の拡大、食用廃油回収時の啓発を行うなど、環境にやさしい地域循環型社会を目指し活動されています。

34年という長期間にわたり、その時代にあったテーマをみつけて少しずつ活動の内容を変えながら地道に活動され、また、行政や他の団体と協力した活動にも積極的に取り組んでいるなど、継続性・実績が高く評価されました。

<準大賞> 事業活動部門 新関西国際空港株式会社

【関西国際空港における藻場の造成】

公害の無い空港を実現する為、ただ海上を埋め立てるだけでなく、自然環境が豊かになるよう、緩傾斜石積護岸による藻場の造成等の仕組みがなされています。

活動の結果、豊かで安定した藻場が形成され、現在では100種類以上の海藻と、天然の漁礁並みに約200種類もの漁業生物が確認されるようになりました。

広大な藻場を創出したことで、海水の浄化や生物多様性を実現し、大阪湾に豊かな自然を生み出した活動であり、環境の保全や創造の寄与について、高く評価されました。

<準大賞> 事業活動部門 日立造船株式会社

【ごみ焼却発電施設における高効率無触媒脱硝装置】

従来の無触媒脱硝法では30%程度にとどまる窒素酸化物除去性能を、触媒脱硝法に匹敵する65%に高めることに成功されました。

触媒脱硝採用に比べて、この装置は発電量向上や二酸化炭素削減、ライフサイクルコスト低減に大きく貢献することができます。

ごみ焼却施設から排出される窒素酸化物を抑制し、発電量を飛躍的に増加させる画期的な技術として開発されており、当該技術がもたらす社会的な影響や波及効果について、高く評価されました。

<奨励賞> 府民活動部門

○箕面市立 彩都の丘学園

【国文都市6号近隣公園（約2.6ha）におけるワークショップの取組】

総合的な学習の時間（地域学習）を活用し、子どもたち自らが公園づくりに参画することを通じて、自然を生かした公園を作り、ものづくりの喜びや難しさを実感することや、地域への愛着心の育みにつなげていくことをめざしています。

子どもたち自身が、調査、研究、設計することにより、彩都特色を生かした公園づくりを実現していることが評価されました。

＜奨励賞＞ 事業活動部門

○大阪ガス株式会社

【膜式ガスメーターの究極的リユース】

膜式メーターの究極的なリユース・リサイクルとして、小型メーターはアルミ筐体ごと60年、大型メーターは部品レベルで56年のリユースが可能となる技術を、全国に先駆けて運用を開始しました。

ガスメーターのリユース・リサイクルについての先進的な技術であり、CO2削減やアルミニウムの抑制にも大きく貢献しており、技術の波及効果、先進性の点で評価されました。

○住友化学株式会社 大阪工場

【環境意識向上のための簡易電力計の活用による省エネ活動】

簡易型電力計を使用した省エネ活動の普及を図るため、職場単位でエントリーするコンテスト形式を実施したことで、より従業員の省エネ意識あるいは環境意識の向上につながりました。

日常業務に潜む多くの無駄な消費電力を見える化した取組みであり、具体的な省エネ効果を体感することで従業員の意識が向上しており、また職場単位の取組みから活動を拡げているなど、オフィスや家庭での節電に向けて他の模範となる1つのモデル活動として評価されました。

（４）環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

平成24年10月に、消費者に環境にやさしい消費行動（グリーン購入）を呼びかけ、環境に配慮したライフスタイルの実践を促すため、スーパーや生活協同組合等の店舗において「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しました。

（参照）<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/kaimono.html>

実施期間	平成24年10月1日～10月31日
参加店舗	スーパー・生協・百貨店・商店街等 4,050店舗
主な内容	<p>☆共通の取組み キャンペーンの統一的な取組みを設定し、各店舗で実施しました。 ポスターの掲示、環境に配慮した商品等の積極的な販売、包装の削減、はかり売りの実施、買い物袋の持参 等</p> <p>☆店舗独自の取組み 各店舗の状況に応じて、特設コーナーの設置など、グリーン購入の普及に即した独自の取組みを実施しました。</p>
その他	豊かな環境づくり大阪府民会議、大阪府、大阪府リサイクル社会推進会議が、環境省、経済産業省、3R活動推進フォーラム、全国の都道府県との共同キャンペーンとして実施しました。

(5) 府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の発行

豊かな環境づくり大阪府民会議の活動や、構成団体が取り組んでいる活動等について紹介し、広報等を行うため、年4回電子広報誌「かんきょう夢ひろば」をHPに掲載する形で発行しました。

(参照) http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/hiroba_back.html

(6) 府民会議のホームページ「かんきょう交流Room」の運営

インターネットを活用し、豊かな環境づくり大阪府民会議の事業や構成団体の活動について広報等を行うため、ホームページ「かんきょう交流Room」を運営しました。

(8) 各種キャンペーンへの参加等

府民会議及び構成団体は、国等の呼びかけにより実施されている様々なキャンペーンに積極的に参加しました。

夏季において、軽装の奨励などにより、事務所や会議室の適正冷房(28℃)を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図る「夏季の適正冷房と軽装勤務」(クールビズ)の取組みについては、府民会議構成団体を通じて会員等への周知と積極的な参加を促しました。

また、消灯というシンプルな行動を通じて地球温暖化問題を意識してもらうためライトアップ施設や家庭・職場の電気を消すように呼びかける「ライトダウンキャンペーン」、冬季において、厚着の奨励などにより、事務所や会議室の適正暖房(政府・自治体 19℃、民間 20℃)を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図る「ウォームビズ」の取組みについては、府民会議構成団体への周知と積極的な参加を促すとともに、府民会議構成団体の参加状況を取りまとめホームページで公表しました。

さらに、家電製品の省エネ性能を表示する「省エネラベル」を商品に貼付して家庭における省エネ型家電製品の導入を誘導する「省エネラベルキャンペーン」や、グリーン購入の促進を啓発するために大阪グリーン購入ネットワーク(大阪GPN)が開催する「大阪グリーン購入ネットワークセミナー」、府民一人ひとりが地球温暖化について考え、環境にやさしい行動を実践する日と定められた、毎月16日の「ストップ地球温暖化デー」等について、府民会議構成団体を通じて会員等への周知を図りました。

(参照) ライトダウンキャンペーン

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/lightdown.html>

(参照) ウォームビズ

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/warmbiz.html>

(9) 平成24年度大阪府環境保全活動補助事業による活動支援

大阪府が、民間団体の環境保全活動を奨励することを目的として、先進的で他の模範となる環境保全活動に対して助成を行う事業について、府民会議としてその審査に協力しました。

具体的には、環境保全活動補助事業審査会の審査委員5名のうちの3名が府民会議の企画委員の中から選任され、補助対象案件の審査に協力しました。

審査の結果、平成24年度は、12件2,096,546円の補助金が交付されました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html>

[平成24年度補助対象事業一覧]

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
大阪海さくら	遊べる海を ふやそうー アマモ植え 作戦ー	ゴミ拾いの実施、アマモ についての学習、育成を 通して、海に対する環境 意識の向上を目的に、淀 川汽水ゾーンのゴミ拾 い、状況調査を行うとと もに、ミュージックエコ イベント会場での大阪湾 海中やアマモに関するパ ネル展示、講演会を実施 した。	府民のべ 500名	H24.7～ H25.3 イベント： 7、11月	淀川沿 い・大阪 市内
番川を守る会	地域流域 「番川」の 環境保全活 動	岬町淡輪地区の中央を横 断する「番川」流域の環 境保全および降雨時にお ける水害防止のため、清 掃活動、ホタルの保護・ 育成活動、堤防の花壇整 備等を実施した。	番川流域の 住民約 180名	清掃活動： H24.11～ H24.3	岬町淡輪 地区
新現役エード	国内クレジ ット制度活 用推進事業	可能な限り多くの中小企 業が国内クレジット認証 を取得することができる ようボランティアとして 省エネ診断や手数料のか かる技術計算や資料作成 の支援を行った。	府内の中小 企業12社	H24.7～ H25.3	大阪府東 部地域
かたの環境フ ェスタ市民会 議	「環境フェ スタin交野 2013」の開 催	地球環境問題、ゴミ問 題、里山保全、農と食の 問題などの環境問題につ いて、民意啓蒙・啓発を 目的とし、参画団体間の 交流を図り、更なる地域 からの環境保全行動を喚 起するため環境フェスタ を開催した。	府民 3,000名	H25.2.24	交野市
特定非営利活 動法人環境教 育技術振興会	泉州のアマ モ場再生と 地域コミュニ ティの活 性化	田尻町の人口海岸（マー ブルビーチ）に平成23 年度に造成された「アマ モ場」において、人工海 浜の有効活用と維持管理 のためのノウハウを蓄積 し今後の人工海岸におけ る地域一体型活動の指標 とするため、地域の小学 校と連携してアマモの田 んぼづくりや海の体験教 室等を行った。	小学生、一 般参加者、 ボランティア等180 名	H24.6～ H25.3	田尻町、 阪南市、 岬町

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
木育情報ネット	街の中で、国産材を見て、触って、山のここと環境のことを考えよう	国産材の利用は森林再生に不可欠である一方、環境保全に関する啓発活動は、産地や山に行く体験型が多く、その対象は限られている。消費地で、誰もが目に触れる場所での活動が必要と考えることから、まず、国産材を見て、触れて、手軽な取り入れ方を提案するため、木が人々の健康に寄与することなどユーザーの関心があるテーマについて、最新のデータをもとにしたセミナーを開催するとともに木工教室を実施した。	セミナー 100名	H24.7～ H25.1 セミナー： 11月、1月 木工教室： 7月	大阪市、 豊中市
NPO 法人中 小企業サポート隊	マイクロ水力発電可能エリアマップ作成から実証実験への啓発事業	日照時間や天候に左右されやすい太陽光発電や風力発電に比べて、24時間発電可能な安定したマイクロ水力発電システムについて、身近な水路での設置可能性について現地調査を行い発電可能エリアマップ地図を作成し、システムを設置して実証実験を行った。これらの内容を分析し、提言にまとめ、地域エネルギー開発に関するシンポジウムを開催し啓発活動を行った。	府民 100 名	H24.7～ H25.3	八尾市、 柏原市、 羽曳野 市、大阪 市
NPO 法人 もく（木）の 会	木育による森林の二酸化炭素吸収機能啓発事業	人工林は適正な管理が行われないと植えた木が大きくなりすぎ二酸化炭素吸収機能も小さくなる。近くの山の木を使うことが地球温暖化防止につながるということ、府内に優秀な木材を育てている山があることなどを子どもたちとその保護者に伝えるため、セミナー、ワークショップを行った。また、平成22年3月に植林、平成23年10月に下草刈りをした山への体験バスツアーを実施した。	小学生とその保護者 110名程度	H24.7～ H24.10	大阪市、 河内長野 市

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
一般社団法人 関西アスベスト調査診断協会	アスベストによる環境への影響についての普及啓発活動 「明日BEST（アスベスト）プロジェクト」2」	平成23年度に行った市民セミナーの内容をより高め、大災害時における現地派遣ボランティア等のアスベスト障害予防の講習会を実施することにより、アスベストに関する正しい知識を身に付けた人材の育成、教育を目的とした市民対象セミナーを行った。	府民 150名	H24.6～ H25.3	大阪市、堺市
NPO 法人地球環境再生機構	児童・幼児とその家族、ボランティアによる「菜園教室と環境学習」	若年層を対象として、発酵微生物を活用した堆肥づくりを通して無農薬の野菜作りをすることで循環型社会を体験し、それらが環境改善・人々の健康に大きく貢献することなどを学習した。	児童とその家族約30人	H24.6～ H25.3	茨木市
NIE 里山体験ワークキャンプ実行委員会	週末ワークキャンプ里山体験講座	従来の長期型自然体験へは参加が難しかった社会人、学生に対し、農作業を行いながら「豊かな自然の中での暮らし」の魅力を体験し、里山に見られる「環境保全と人間社会との両立」について現場で学ぶ機会を提供することを目的に、大阪府内の里山において、6ヶ月間の農業体験を中心とした継続型週末ワークキャンプを行った。	学生、若年社会人 15名	H24.6～ H24.12	富田林市
太陽光発電所ネットワーク大阪	安心して太陽光発電が設置できるよう、信頼できる情報を伝える。	太陽光発電パネル設置者が管理に必要な基礎知識を提供するためのセミナーを開催するとともに、太陽光利用の効用と省エネ生活を楽しむためソーラークッカーを使用して交流を行った。また、太陽光発電所めぐりや情報交流の場を設けた。	府民 160名	H24.7～ H25.3	大阪市内

3 府民会議構成団体の活動

府民会議に参加している府民団体、事業者団体、関連団体等の平成25年度の活動予定及び平成24年度の活動報告の概要は、次頁以下に掲載しているとおりです。

府民会議構成団体の活動を重点行動テーマごとに見ると、次のとおりです。

「Ⅰ グリーン購入の推進」については、24年度は15団体が取り組みました。25年度も15団体が、グリーン購入の実践をはじめ、グリーン購入についての啓発、買い物袋（マイバッグ）持参運動の実施、環境の配慮した商品の開発・販売などに取り組みます。

「Ⅱ ごみ減量化・リサイクルの推進」については、24年度は13団体が取り組みを行いました。25年度も13団体が取り組みを行う予定です。うち、府民団体では構成員の一人ひとりがごみの減量化や分別廃棄などの具体的な実践行動に取り組み、事業者団体では、簡易包装による包装材の減量化や食品リサイクル、各店舗における廃棄物の分別回収等のリサイクル運動の実践などに取り組みます。

「Ⅲ 家庭や学校・職場での省エネ・新エネの推進」については、24年度は16団体が取り組みを行いました。25年度も17団体が、事務所等におけるスイッチオフや、夏季の適正冷房・軽装を行うエコ・スタイルの実践などによる電力使用量の削減等に取り組みます。

「Ⅳ 自動車の使用の見直し・エコドライブの推進」については、24年度は7団体が取り組みを行いました。25年度も7団体が、エコドライブやアイドリングストップの実践、ノーマイカー等における公共交通機関の利用促進、低公害車の普及啓発などに取り組みます。

「Ⅴ 自然環境の保全とふれあいの推進」については、24年度は8団体が取り組みを行いました。25年度も8団体が、森林や里山の保全、河川の浄化や美化、生態系の保全、イベント実施時のごみの持ち帰りや環境配慮の徹底などに取り組みます。

「Ⅵ 緑化の推進」では、24年度は4団体が取り組みを行いました。25年度も4団体が、植樹や緑化運動などに取り組みます。

その他にも、府民会議構成団体を実施する啓発イベントやセミナー・研修会等に、延べ約6万人の参加を見込んでいます。

なお、各構成団体の活動の具体的な内容や実績については、下記ホームページに重点行動テーマごとに分類して掲載しています。

(<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/keikaku.html>)

☆☆ 府民団体 ☆☆

団体名 一般社団法人 大阪エイフボランティアネットワーク
HP

平成 24 年度活動の重点目標として実施した、V 自然環境の保全とふれあいの推進についての、「きれいな水を取り戻す運動」で、その内容は行政機関や自治会等と連携して実施した道路側溝・公園・駅周辺・河川敷・海浜等の清掃活動や、廃食用油を回収して石鹸づくりを行う等で、瀬戸内海に流入する河川の水質改善に努めました。

次に、II ごみの減量化・リサイクルの推進については、買い物時のレジ袋不要運動やマイバック持参運動を推進するとともに、行政機関や自治会等と連携してリサイクル可能な廃棄物を分別回収し、回収後にリサイクル業者へ引き継ぎました。

また一部の支部では、古綿布を収集して洗濯アイロンかけ後、一定の大きさに裁断のうえ老人施設の清拭用布として寄贈しました。

そのほか、VI 緑化の推進では地域の緑化活動に積極的に参加するとともに、I グリーン購入の推進では街頭での啓発活動を実施しました。

平成 25 年度においては、全会員を対象とした活動実績の把握が困難なため、数値目標を掲げることなく、これまで同様、市・町および関係団体や近隣住民とともに、啓発活動、実践活動を推進する予定です。

<平成 24 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、V、VI、その他

<平成 25 年度に取組を行う重点行動の項目番号>

団体名 一般財団法人 大阪府こども会育成連合会
HP <http://www2.ocn.ne.jp/~fukodomo/>

平成 24 年度については、環境学習の視点を取入れ、子ども自身が体験や調査を通じて環境問題について学び、その成果を地球の人々に発信していく地域ぐるみの活動と呼びかけてまいりました。

平成 25 年度についても広報紙「こども会大阪」を通じて地球温暖化防止を呼びかけてまいります。また、リサイクル活動、公園や街の清掃、身近な自然の観察、こどもによる地域の安全マップ作成など豊かな環境づくりに向けた地域ぐるみの活動を展開してまいります。

<平成 24 年度に取組を行った重点行動の項目番号> その他

<平成 25 年度に取組を行う重点行動の項目番号> その他

団体名 大阪府生活協同組合連合会
HP <http://www.osaka-union.coop>

平成 24 年度、大阪府生協連合会は「豊かな環境づくり大阪府民会議」の構成団体として、「環境にやさしい買い物キャンペーン」「ライトダウンキャンペーン」等に引き続き参加しました。また、行政、事業者、環境団体、消費者団体が連携して取り組む、家電製品の「省エネラベルキャンペーン」の大阪実行委員会に参加し、量販店での省エネラベルの活用実態のモニタリング等の活動をすすめました。

平成 25 年度も引き続き各種キャンペーンに参加します。また府内の環境団体や消費者団体と連携し、環境保全や今後のエネルギー政策をテーマとした学習活動等を推進し、引き続き家庭での省エネ活動を推進します。

<平成 24 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III

<平成 25 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III

団体名 大阪府青年団協議会
HP

平成 24 年度は、例年推進しているグリーン購入の推進を、主に事業ごと、諸会議の中で加盟市町団のメンバーに訴えながら、実施に向けて進めてまいりました。

平成 25 年度は、“グリーン購入の推進”に加えて、地域ごとの諸問題に対応する活動を推進してまいります。

(例) 岸和田市 側溝の薬剤散布 (6 月予定)

市内各地域で側溝に防虫のため薬剤を散布する。

泉佐野市 あいがもを使った無農薬農園 (通年)

あいがもを使って無農薬の農園を子どもたちといっしょに年間を通じて収穫まで環境教育の一環で行う。

泉南市 清掃美化活動 (通年)

市内の町会と連携して合同で庁内、墓地等の清掃活動を行う。

<平成 24 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、IV、その他

<平成 25 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、IV、その他

21世紀を担うガールスカウトの少女達が責任ある「世界市民」の一員として、地域の今日の問題である環境問題への取り組みを日常の活動の中に取り入れ実施しました。

① ごみ減量化・家庭での省エネ：ガールスカウトでは常に色々活動の場面で、ごみの減量化、省エネに取り組んでいます。特にキャンプでは、節水、節電を生活の中で体験し、日常生活に反映させています。また各地区で開催の事業では、ゴミの持ち帰りを徹底しています。

② 自然環境の保全とふれあいの推進：「長瀬川にホタル復活？ホタルについて学習しよう」をテーマに、長瀬川の環境保全活動の一環として、昔、長瀬川にも生息していたホタルを蘇らすことはできないか、ホタルの生態や生息の環境について学習し、実現に向けて活動を行いました。

ピースプロジェクト Greener×Greener*の実施として、ある団はミカンの木のオーナーになり、事前学習、摘花作業、収穫、袋詰め・販売を半年以上もかかって取り組み、販売から得たお金をガールスカウト日本連盟の「平和のための寄付金」に送金しました。(画像2点)



25年度も東日本大震災被災者支援プロジェクトを継続します。東北の仮設住宅にいるお年寄りが、一歩外に出て歩き出すように、花の種に手紙を添えて届けます。

ピースプロジェクト Greener×Greener の一環として、木を使って循環型社会を目指す「木育プロジェクト」に取り組みます。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、V、VI、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、V、VI、その他

* 公益社団法人ガールスカウト日本連盟では平成22年よりピースプロジェクト Greener × Greener を始めています。この活動は日本の地域の緑のために日本のガールスカウトが中心になって地域の人々と活動することで、難民キャンプの自然環境の回復を支援するプロジェクトです。「日本の環境のために」「世界の難民のために」子どもたちが中心となり、自分たちの手で自分達の住む地域に貢献するための行動をし続け、そしてその頑張りから得たものや収益を、難民のために使っていくというものです。

団体名 国際ソロプチミスト大阪
HP <http://www.si-osaka.jp/>

平成24年度は、

- ・ グリーン購入の必要性として、マイバッグ持参運動へ取り組み、エコ商品として再生しやすいものを買求めるよう呼びかけました。
- ・ スイッチオフ推進運動、自家用車のアイドリングストップの取り組みも呼びかけました。
- ・ 球根や花の種を配布し、街の緑化に努め、また屋上緑化普及に協力しました。
- ・ 省エネ、新エネの重要性を認識し、推進に協力しました。
- ・ ゴミ発生抑制のためのリユース、リサイクルの重要性を考えました。

平成25年度は、

- ・ マイバッグ持参、グリーン購入の推進運動
- ・ 環境ラベルの周知徹底
- ・ ごみ減量としてのリユース・リサイクルへの理解及び周知徹底
- ・ 省エネ推進としてスイッチオフ運動、また太陽光発電、新エネの理解
- ・ 自動車使用の見直し、エコドライブの推進として、自家用車のアイドリングストップの取り組みへの呼びかけ
- ・ 環境美化に関わる活動としてCO₂削減や緑化の実践行動の推進

上記を実施する予定です。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、IV、VI、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、IV、VI、その他

団体名 国際ロータリー第 2660 地区
HP <http://www.ri2660.gr.jp/>

国際ロータリー第 2660 地区は、83 クラブ、3,710 名余の会員で構成されています。
環境問題を最優先事項の一つとしてとらえております。

24 年度は、

- ①グリーン購入の推進を通年行いました。
- ②世界環境デー(6/5)/環境月間の運動への参加を行いました。
- ③環境問題の啓発・情報提供を実施しました。

25 年度は、

- ①グリーン購入の推進を通年行います。
- ②世界環境デー(6/5)/環境月間の運動への参加を行います。
- ③環境問題の啓発・情報提供を実施します。

<平成 24 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、その他

<平成 25 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、その他

団体名 なにわの消費者団体連絡会
HP

平成 24 年度は、「なにわの消費者団体連絡会」としては「環境問題」に特化しての活動に取り組みませんでした。個々の構成団体の中には環境問題に取り組んだ団体がありました。

①岸和山市消費生活研究会

「節電に関する意識調査」を実施

平成 23 年、東京電力管内では節電行動が実施されました。関西でも今夏、計画停電の可能性を公表しましたがそれを受けて、節電に関する消費者の意識を知りたく「節電に関する意識調査」を実施。

②生活協同組合エスコープ大阪

- ・環境会計簿
- ・エネルギー問題 など

③とよなか消費者協会

- ・環境保全、リサイクル活動（資源回収、リサイクル啓発）トレー実態調査などの活動
- ・地産地消 など

④コープこうべ

- ・「エネルギー問題について学び、省エネの暮らし方を考える」

関西電力の各種発電所屋、家庭の得寝る一偽診断である「うちエコ診断」を体験する中からエネルギーの生産と消費の実態について学習し、調査した。そこで学んだことや発見したことを自分自身の暮らし方に見直しや地域での省エネにつなげるためには、なにを重点的に学び、気づくかを意見交流を含め学習した

- ・「食と環境」について

環境が整備されないと食料は手に入らない（農・漁業）、豊かな産地を消費者ともども自然を守っていきこう、従事者の苦勞についても学ぼう

- ・フードプラン環境に配慮した（人と自然にやさしい）農・畜・水産物の商品群の中から「黄金生姜（高知県）」の栽培から見る環境にやさしい農業について学習ならびに産地見学 など

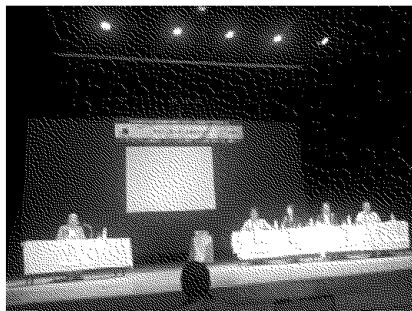
平成 25 年度は、重点活動について引き続き取り組むこととしています。

<平成 24 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、III、V

<平成 25 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、III、V

団体名 公益社団法人 日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会
HP <http://www12.jaycee.or.jp/2012/kinki/osaka/>

平成24年度は、事業実施時には、大阪府下各地青年会議所にも、環境配慮を呼びかけました。原発事故が発生したことにより、エネルギー問題についても多くの発信をいたしました。



2012/9/1 大阪ブロック協議会 ブロック大会でのパネルディスカッション
『明日のエネルギーを考えよう』実施風景

平成25年度も、事業実施時には、大阪府下各地青年会議所にも、環境配慮を呼びかけます。また、引き続きエネルギー問題にも大阪ブロックとして取り組んでまいります。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> III V

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> III V

団体名 日本ボーイスカウト大阪連盟
HP <http://swo.to>

平成24年度は、毎年全国的に行っている「カントリー大作戦」は、9月17日大阪府内の各加盟団が各団地域で、約1万個の空き缶やペットボトルの回収とともに地域清掃を一斉活動として行いました。

この活動は、20年を超える活動として行ってきましたが、当初10万個が回収されましたが、現在は10分の1になるように社会的に空き缶やゴミの放置は少なくなってきました。現在は、啓発活動として行う面が強く、ペットボトルのキャップを回収して団体に贈る等、リサイクル活動の側面が付加されてきました。

また、戦後間もなくから継続している「緑の羽根募金活動」の街頭募金活動と府内の植樹を実施しました。

平成25年度は、カントリー大作戦の継続実施を中心に、環境美化を中心に「豊かな環境づくり」の啓発に努めていきたい。

また、キャンプやハイキングなどの野外活動のフィールドでの環境配慮実践をより高度に、より今日的に行えるよう日々の研究を行いたい。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> II、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> II、その他

団体名： 日本野鳥の会大阪支部

HP： <http://sun.gmobb.jp/wbsj-osaka/>

平成 24 年度において、野鳥の会では、活動の中心である自然観察会で公共交通機関の利用を徹底し、車の使用を見直し、世界規模で問題となっている「地球温暖化防止」に努めました。

また、野生動物と共存できる環境を守る事を進めるため、「自然とのふれあいの推進」の啓蒙のために、学校、会社、団体に対し野鳥観察指導等とおして啓蒙活動を行いました。

さらに、関西の河川でゴミ拾いを行っているボランティア団体「ゴミンゴ・ゴミ拾いネットワーク」と協同して、淀川・海老江干潟で春の 4 月と 5 月、秋の 8 月 9 月の 4 回シギチドリを観察した後、ゴミンゴの皆さんとゴミ拾いを実施しました。

平成 25 年度も、引き続き、これらの実践活動を実施していく予定です。

<平成 24 年度に取組を行った重点行動の項目番号> II、IV、V、その他

<平成 25 年度に取組を行う重点行動の項目番号> II、IV、V、その他

団体名 日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）

HP <http://www.rengo-osaka.gr.jp/>

日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）は、「エコ・ユニオンー環境にやさしい労働組合」をめざして、環境問題への取り組みを活動方針の大きな柱の 1 つとして位置づけてきました。

平成 24 年度は、引き続き連合が全国で展開している「エコライフ 21」により各構成組織が独自の取り組みを展開しました。

また、連合大阪は、環境行動として、大阪府箕面市にある「連合大阪の森」の視察・清掃、そして地域組織は、10 月を中心に、大阪府域一斉環境活動実施日として、森林地帯の環境整備や駅・河川・公園等の清掃活動を実施し、さらにはエコキャップ運動も積極的に展開し、地域社会への啓発を行いました。

平成 25 年度も、平成 24 年度の活動を引き続き行っていきます。

連合大阪府域一斉環境活動を中心に行うことに加え、新たに環境に即した取り組みを行っていく予定です。

<平成 24 年度に取組を行った重点行動の項目番号> III、V、その他

<平成 25 年度に取組を行う重点行動の項目番号> III、その他

団体名 ライオンズクラブ国際協会 335-B 地区

HP <http://www.lc335b.gr.jp/>

平成24年度は、水辺のクリーンアップ大作戦での清掃活動、リサイクル、エコ活動等、環境への取り組みを、大阪府・和歌山県下180のクラブが様々な活動を行ってました。

平成25年度も、これまでの事業を継続して実施していく予定です。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、V、VI、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、V、VI、その他

団体名 公益社団法人 関西経済連合会
HP <http://www.kankeiren.or.jp/>

平成24年度は、民生部門および業務部門における自主的な環境活動促進のための普及啓発活動を継続して行いました。特に、関西うちエコ診断協議会への協力として、集団受診を実施する企業の掘り起こしを行い、企業の従業員の家庭での省エネ意識の浸透に貢献しました。

また、中堅・中小企業の自主的、継続的な環境活動の実践への支援事業を継続して行いました。エコアクション21取得および無料省エネ診断の受診をテーマとする説明会やセミナーを実施しました。特に、省エネ推進については、診断のみの活動から、補助金活用も含めた設備投資を促す活動まで視野を広げて展開を行いました。

さらに、「環境・エネルギー技術・製品事例集」を活用し、びわ湖環境メッセやエコプロダクツ2012のほか、カタール・ドーハで開催されたCOP18において、事例集の配布を通じて「環境先進地域・関西」を国内外にアピールしました。

(主な取組実績)

- ・ 関西うちエコ診断推進協議会への協力（企業や社員への受診呼びかけ）
- ・ 夏季の適正冷房の推進、「関西エコオフィス運動」の普及活動支援
- ・ 中堅・中小企業向け「環境経営と省エネに関する勉強会」開催
- ・ 中堅・中小企業向け省エネ促進活動（無料省エネ診断、補助金活用支援）
- ・ 「環境・エネルギー技術・製品事例集」を活用した国内外へのPR



省エネ実践セミナー

平成24年1月22日 於:新梅田研修センター
関経連会員企業より約130人(約70社)が参加



COP18での環境事例集配布ブース

平成24年12月1～5日
於:カタール・ドーハ



COP18でのPRの産経新聞記事(12月5日付け)

平成25年度は、昨年度の取り組み内容の継続を基本に、実践目標を定め、より成果のあがるような取り組みを行う予定です。

(主な取組予定)

- ・関西の企業が保有する優れた環境・エネルギー技術・製品やノウハウ事例による国際貢献の推進（情報発信ツール・機会の整備・活用）
- ・中堅・中小企業の自主的、継続的な環境活動実践への支援
- ・民生部門、業務部門における自主的な環境活動促進のための普及啓発活動

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> III、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> III、その他

団体名 一般社団法人 関西経済同友会

H P <http://www.kansaidoyukai.or.jp>

(一社)関西経済同友会は、日本の経済社会の諸問題を調査研究し、提言を行うこと、併せて会員相互の交流および経営者としての自己研鑽を行っています。

平成24年度は従来と同様、関西広域連合の活動に積極的に参画しました。同連合の提唱する「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みとして、適正冷房、軽装などの会員企業等への呼びかけを重視しました。

また、グリーン購入活動の推進などについてもPR啓発活動に取り組みました。

平成25年度も、「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みとして、適正冷房、軽装などの会員企業等への呼びかけを重視します。また、グリーン購入活動の推進などについてもPR啓発活動に取り組んでいく予定です。

今後は多様な環境問題について自治体や他の経済団体との連携活動をより重視していきます。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> III

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> III

大阪商工会議所は、会員企業の環境課題への対応に役立つ事業を様々な形で提供しています。

平成 24 年度は、環境施策の動向や先進企業の環境経営の事例を 10 回シリーズで紹介する「環境問題研究会」をはじめ、企業に関わる環境・エネルギー情報を広く会員へ情報提供を行いました。

また、経営者、経営幹部や環境部門責任者等を対象に、中小企業においても押さえておくべきと思われる重要な環境法令とその対応ポイントを分かりやすく解説する「中小企業のための環境法基礎講座」、夏季・冬季の節電対策にあたり具体的な対策ポイントを解説する「中小事業者のための省エネ・省 CO2 セミナー」や欧州 REACH 規則・RoHS 指令等の動向を解説する「化学物質規制対応セミナー」を開催するなど、様々な事業で企業の環境対応を支援しました。

また、水ビジネス分野への進出や水関連の機器・技術の向上を目指す府内企業を支援する事業（関西・アジア 環境・省エネビジネス推進フォーラム「水分科会」）や、創エネ・省エネ、環境先進対応など、環境・エネルギーのより広い分野で、アジア諸国に負けないハイエンド技術の開発、製品の創出を目指す大手・中小企業のマッチング事業（MOTT OSAKA フォーラム）も実施しました。

「夏季の適正冷房と軽装勤務」は 5 月 1 日～10 月 31 日にかけて実施しました。適正冷房（28℃）の推進と軽装勤務の奨励は、事務局における実施だけでなく、広報誌「大商ニュース」やHPを利用して会員企業への実施呼びかけ、館内随所にポスターを掲示しPR活動を行いました。

平成 25 年度も、「環境問題研究会」や環境関連のセミナーを通じて企業経営に必要な環境関連情報を提供するほか、各種企業マッチング事業や「夏期の適正冷房と軽装勤務」も引き続き実施する予定です。

<平成 24 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、III、その他

<平成 25 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、III、その他

平成24年度は、グリーン購入、スイッチオフ、アイドルリングストップの推進について周知する従前の活動に加え、事業者団体ならではの取り組みとして、企業における環境保全活動を支援するための情報提供、あるいは環境対応をポジティブに捉え、ビジネスチャンスにつなげるための勉強会を行いました。その一端を下記に記します。

【省エネルギー対策への支援】

事業所における省エネルギーの推進は、企業の社会的責任として必須のテーマですが、何にどう取り組めば良いかの情報が不足しています。そこで、特に生産部門での省エネの具体的な方策について掘り下げ、研究会形式の情報提供を行いました。

照明、空調、モータ、ポンプ、コンプレッサ、ボイラといった工場内の各設備・機器に的を絞り、費用対効果を含めた省エネ改善の方法を学んでいただくことができました。

【創エネ、蓄エネに関する先進事例の情報提供】

環境負荷の低減、そして原子力発電に頼らないエネルギー源の多様化要請を背景に、自然の力を活用した再生可能エネルギーによる発電が注目されています。そこで、新エネルギーシステムに関する動向を知り、自社技術の応用を考える場として研究会を開催しました。太陽光、風力、バイオマス、ごみ発電、あるいはスマートグリッド、スマートハウスなどのテーマで講演や見学会を行い、情報収集に役立てていただくことができました。

【エコカーなど自動車分野の環境技術を紹介】

自動車分野の環境技術は日本が世界をリードする立場にあり、業種を問わず企業の関心が高まっています。そこで、今回は自動車メーカーや部品メーカー、大学から技術解説を聴いたり、実際の生産工場を見学したりといった勉強会を行いました。名称は「次世代自動車テクノロジー研究会」と言い、環境技術の先進性とその用途を具体的に理解していただくことで、今後、中小企業においても自動車の低費向上や脱化石燃料化に向けた周辺技術の開発促進が期待されます。

平成25年度は、協会機関誌による地球環境問題への啓発活動を継続して実施するとともに、環境をテーマとした研究会活動や情報提供が好評だったことから、継続して実施できるものは、内容を工夫して新しい情報を取り入れて実施していきます。

事業者団体として、企業における環境対応を支援することが重要であると考えており、昨今とくに関心の高いエネルギー問題について、省エネルギーおよび創エネルギーの両面から新しい技術情報を発信していきたいと考えています。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ、その他

団体名 大阪府中小企業団体中央会
HP <http://www.maido.or.jp/index0.html>

大阪府中小企業団体中央会は、中小企業等協同組合法に基き中小企業団体（協同組合等）を通じて大阪府内の中小企業の振興・発展のために各種支援事業を実施しています。中小企業の環境に関する課題解決に対する支援も大きな柱の一つとして位置づけています。

平成24年度は、中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」の普及・啓発を行うとともに、本会が地域事務局として新たに10社の認証取得に支援しました。この他、大阪府をはじめする環境に関する施策等について、本会会員組合等に対し本会の機関紙、ホームページ及びメールマガジン等を活用し積極的に情報提供を行いました。

平成25年度は、本会の事業計画中に中小企業の環境に関する支援を柱の一つに位置付け、全会員組合向けの第1回セミナーでは環境をテーマにした内容で実施します。また、「エコアクション21」の取組みについては引き続き積極的に展開するとともに組合単位で実施する環境セミナー・節電セミナーなどについても専門家派遣等の支援を継続して実施します。さらに環境に関する施策などの行政情報の提供についても、本会の情報提供システムを活用し、引き続き実施します。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

平成24年度は、

I. 業界として「百貨店の環境保全に関する自主行動計画」を改定（日本百貨店協会）し、国のエネルギー政策を受け、新たなエネルギー需給構造や社会システムの変換に対応するために、電力需要の標準化「ピーク対策」や「節電」への取組みを強化。また、循環型社会構築のため容器包装や廃棄物を「出さない」「持ち込まない」取組みを行い、環境負荷・社会的コストの低減に取り組むこととした。

II. 関西電力管内の夏季・冬期の節電対策

(1) 夏の節電対策について

5月1日より、クールビズ（期間：5/1～9/30、6月からスーパー・クールビズ）を推進。「節電ガイドライン」「チェックリスト」により、各社が具体的削減計画を立て、主に、照明（LED化）・照度、冷房温度、昇降機等の対策を実施（目標15%削減）

- ①業界統一ポスター「今年も節電をカンガエルー」・ステッカーを店頭掲示
- ②さかなくん・気象予報士根本美緒氏による店内放送で、節電を呼びかけた

(2) 冬の節電対策について

12月3日～3月29日までの平H、「無理のない範囲」での節電を実施。お客様の安全性確保、各社に見合う節電を継続（業界目標：10%削減）し、ハロゲン・白熱灯のLED化率4割をめざす

- ①ウオームビズの取組実施（期間：11/1～3/31）
- ②業界統一ポスター・ステッカーを店頭掲示

III. 包装容器や廃棄物削減と地球温暖化対策の取組として、

(1) 業界統一ポスター「デパートでも、マイバック」「デパートへも電車とバス」を店頭掲示し、お客様へのPRを推進

(2) 業界統一の「スマート・クール・バック」（保冷タイプ、内側アルミ蒸着）を6月5日から全国百貨店で販売（定価300円）し、食品売場におけるマイバッグの利用促進を継続して呼びかけた

(3) スマートラッピングの普及推進

業界統一ポスター「地球にやさしいお買い物、エコ包装でカンガエルー」を店頭掲示し、お客様へのPRを推進

(4) 百貨店統一ハンガー・循環型ハンガー利用拡大による廃棄ハンガーの削減

(5) 段ボール箱納品から折り畳みコンテナ（通い箱方式）や強化ダンボールへの転換

(6) 再生可能エネルギーの利用拡大など、店舗における熱源ベストミックスの確保

平成25年度も、基本的には平成24年度実績をベースに活動を継続します。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> I・II・III

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> I・II・III

団体名 日本チェーンストア協会関西支部

HP <http://www.jcsa.gr.jp/topics/environment/circulating.html>

H24年度はレジ袋の削減の取組として、行政・市民団体と会員各社との協定締結や協働で店頭キャンペーンを実施して啓発に努めました。また、チェーンストア協会全体ではマイバッグの持参率がH25年2月度末で46.1%まで上昇しました。

また、ゴミの減量化・廃棄物の削減の取組として通常の店頭回収品目（ペットボトル、トレイ、缶、牛乳パック）とは別に透明トレーの回収も一部企業で開始しました。

地球温暖化対策として、会員会社において店舗の温度設定の見直しや、照明の一部カット等で省エネに取り組みました。また、更に省エネ設備の更新や新規導入等の実施等にも取り組めました。

H25年度は引き続きマイバッグの持参運動を行政・市民団体との協働で実施する予定です。

【大阪市、吹田市で協定の延長を予定】

また、ゴミの減量化対策として売場内での盛売り・量り売りの品目拡大と同時に、使用するトレーの肉薄化・軽量化を図ります。

食品リサイクルの対応として、食品残渣の総発生量の抑制に取り組めます。

地球温暖化対策として、省エネ取組みの継続と設備の更新を実施します。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、その他

団体名 大阪府小売市場総連合会

HP

平成24年度の各項目別の活動状況は、目標どおり達成できました。

- ごみ減量化推進運動として、通年にわたり消費者に協力を呼びかけ、マイバックの持参、包装紙の簡素化を推進。
- ごみの減量化、リサイクルの推進を図るため、理事会等の会員が集まる会議で環境問題を取り上げ、啓発を行う。
- 小売市場周辺路上における違法駐輪の防止を消費者に呼びかけるとともに駐輪場の整理整頓を実施。

平成25年度は、平成24年度と同様な施策を実施する予定です。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅱ、Ⅲ、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅱ、Ⅲ、その他

団体名 大阪府商店街連合会

HP

平成24年度は、平成24年6月の役員研修会において、「豊かな環境づくり大阪行動計画」を配布周知した。

平成25年度は、理事会、役員研修会等において「豊かな環境づくり大阪行動計画」を配布周知するとともに、会員には機関誌「府商連新聞」において周知啓発する。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> V、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> V、その他

団体名 地球環境関西フォーラム
HP <http://www.global-kansai.or.jp/top.htm>

平成24年度に実施した活動は、以下の通りです。

○実践活動

- ・ 民生分野における温暖化防止施策の支援
 平成22年度に設立した、関西うちエコ診断推進協議会の枠組みを活用し、特に関経連と連携して、企業にうちエコ診断の集団診断を働きかけた。
- ・ 第9回“若者によるエコ・メッセージ”ポスターデザイン公募事業の実施
 応募325作品の中から優秀な作品を選定し、表彰すると共に、新聞や、公共施設等での展示で、作品を紹介した。
- ・ 公民館等の社会教育施設での、環境教育の活性化に向けた検討の実施
 産官学民メンバーによる検討会を設置し、検討を行った。

○情報発信

- ・ 震災をふまえた持続可能なまちづくりに関する提言の公表、シンポジウムの開催
- ・ 再生可能エネルギーのあり方について考える、地球温暖化対策シンポジウムの開催
- ・ 循環型社会形成に向けたライフスタイルへの変革をめざした、市民講座の開催、および意識啓発ツールとしての環境マンガの発行
- ・ ホームページ（以下HP）、冊子による情報発信
- ・ HPコンテンツ「エコロジカルな住宅と住まい方」「環境力情報」の改訂

○連携・国際協力

- ・ 市民、企業等の生物多様性保全に係る取組みの促進策の検討・実施
 市民団体との意見交換、生物多様性認証マークの普及促進を目的とする環境マンガの制作などを行った。
- ・ 中堅企業向けに、関経連と共催で、エコアクション21と省エネに関するセミナーを開催

平成25年度も、地球温暖化対策、低炭素社会や循環型社会の構築、持続可能なまちづくり、生物多様性保全、環境技術面でのアジアへの貢献や環境意識啓発などに関し、上に述べた4種類の活動を、大学、自治体、産業界、NGOその他の機関と協力・連携し、継続実施する予定です。

○実践活動

- ・ 民生分野における温暖化防止施策の支援事業
 （関西うちエコ診断推進協議会の枠組みを活用）
- ・ 第10回“若者によるエコ・メッセージ”ポスターデザイン公募事業の実施

○情報発信

- ・ 地球温暖化対策シンポジウムの開催
- ・ 循環型社会形成に向けたライフスタイルへの変革をめざした市民講座の開催
- ・ HP、冊子による情報発信

○連携・国際協力

- ・ 中国との定期環境協議開催による人材交流
- ・ 生物多様性保全に係る、市民団体・企業等の連携取組みの促進策の検討・実施

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、V、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、V、その他

団体名 公益財団法人大阪みどりのトラスト協会
HP <http://www.ogtrust.jp/>

平成元年に設立した財団法人大阪みどりのトラスト協会は、平成 24 年度から公益財団法人大阪みどりのトラスト協会として新たにスタートをしましたが、引き続き大阪府内に残された貴重な自然環境を保全するとともに「緑の募金」運動を通じて市街地の緑化や森林整備を推進し、みどり豊かで快適な環境づくりに寄与することを目的とした事業を実施していきます。

平成 24 年度は、和泉葛城山ブナ林、三草山ゼフィルスの森での保全活動や大阪府自然環境保全地域（5箇所）への保全助成、能勢町地黄湿地、和泉市信太山惣ヶ池湿地等の貴重な自然環境の保全活動や能勢町歌垣の森等での里山保全活動、生物多様性保全活動を地元住民、ボランティア団体、企業ボランティアの方々とともに保全作業や生き物調査、自然観察会等を行いました。

「緑の募金」事業では、市街地の緑化活動、里山の森林整備、学校ビオトープづくり等を行うNPOやボランティア等の活動に助成するとともに、教育施設での木の香る快適な学習環境づくりにも助成を行いました。

平成 25 年度についても引き続き、大阪府と連携した自然環境保全事業として、「和泉葛城山ブナ林」や「三草山ゼフィルスの森」、大阪府自然環境保全地域（5箇所）、能勢町地黄湿地、和泉市信太山惣ヶ池湿地、大和葛城山等での生物多様性保全事業や里山保全事業を、地元住民、ボランティア団体、企業ボランティアの方々の協力を得て保全活動作業や生き物調査、自然観察会等を行います。

また、当協会の自主事業として、ボランティア養成講座の開催、生物多様性や里地里山保全のモデル事業として「大阪 SAIOYAMA ランド」事業に着手します。

府内唯一の「緑の募金」の指定団体として行う緑の募金事業では、募金キャンペーンとして春季（3月1日から5月31日まで）と秋季（9月1日から10月31日まで）に集中取り組み期間に募金運動協力団体の協力を得て街頭募金を行うとともに、企業募金、職場募金、学校募金などに取組みます。

また、緑の募金を活用してNPOやボランティア団体、教育機関等が行う市街地の緑化や森林の整備、学校ビオトープづくり、教育施設での木の香る快適な学習環境づくり等への助成を通じて、緑化活動や里山の保全活動等による地球温暖化防止のための府民運動を推進します。

<平成 24 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、III、V

<平成 25 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、III、V

●平成24年度は以下の5項目を実施した。

大阪府地球温暖化防止活動推進センターは、地球温暖化防止への取り組みに対する府民の参加を促すため、複数のNPOを事業主体として、企業、地球温暖化防止活動推進員等を構成員とするコンソーシアムを設置し、草の根のCO₂削減を推進するための事業を実施した。また、家庭分野のCO₂排出削減を目的とした事業に取り組むとともに、大阪府と連携した「大阪版カーボン・オフセット制度」の推進、その他のCO₂排出抑制事業を実施した。

(1) 地域で活動するNPO支援・連携促進事業

複数のNPOを事業主体として、企業、地球温暖化防止活動推進員等を構成員とするコンソーシアムを設置し、草の根のCO₂削減事業を推進した。

(2) 家庭のエコ診断事業

家庭から排出される温室効果ガスを定量化し、導入可能な対策メニューと、削減したエネルギーにより節約される経費による投資回収見通し等を提案することで、ライフスタイルの改善やエコ家電の導入等によるCO₂排出量の削減を推進した。

(3) 大阪府との連携

・カーボンオフセット・クレジットの創出・活用を促進するため、中小企業者を対象とした大阪版カーボン・オフセット制度を推進した。
・「大阪府省エネ外食店舗普及推進協議会」などにおいて、省エネ機器の導入による効果把握調査等を支援した。

(4) フードマイレージ・自然エネルギーをテーマとした温暖化防止活動の実践

地球温暖化防止活動推進員や他団体と連携して作成したフードマイレージ学習教材を用いて、府民のフードマイレージへの理解を高めるとともに、買い物に係る自転車や公共交通機関の利用を促進するための啓発活動を行った。

また、大阪府域の1ヶ所の水路に小水力発電機を設置し、自然エネルギーの理解を高めるとともに、省エネに関する啓発活動を行った。

(5) 節電対策の推進

東日本大震災の影響を受け、深刻な状況にある電力事情を踏まえ、全国の地球温暖化防止活動推進センターと連携し、「節電共同行動」として、『家庭ですぐ出来る節電21』等、大阪府民に対する節電対策の啓発活動を行った。

●平成25年度の活動予定

(1) 地域活動支援・連携促進事業

複数のNPO、企業、地球温暖化防止活動推進員等を構成員とするコンソーシアムを設置し、定量的なCO₂削減効果を把握することができる事業を推進するため、事業の進行管理を行うとともに、事業を取りまとめ、会計責任幹事として参画し、温室効果ガスの削減に直接的に貢献する。

(2) 家庭のエコ診断事業

診断を希望する家庭を対象に、家庭から排出される温室効果ガスを定量化し、太陽光発電の導入、住宅のエコリフォーム、エコ家電の導入、日常のエコ活動など家庭での取り組みごとに、温室効果ガスの削減量と対策に必要な費用、投資回収見通しなどを提案する事業を実施する。

診断する者は、必要な講習を実施し、講習修了者を診断員として認定する。

(3) 大阪府との連携

・大阪版カーボン・オフセット制度におけるオフセット・クレジット仲介機関設置・運営事業。
昨年度までに大阪府と共同して構築した大阪版のカーボンオフセット制度の運営に向け、クレジットの仲介機関として、オフセット・クレジットの創出支援、及び売り手と買い手のマッチングを行い、中小事業所における温室効果ガスの排出削減を推進する。

・地域協議会事業

地域協議会事業に協力するため、構成員、委員及び事務局の担当として次の地域協議会に参画する。特に、「大阪府省エネ外食店舗普及推進協議会」などにおいて、環境省の補助金を活用して実施した外食店舗における既存の照明設備、空調・冷蔵・冷凍設備等を省エネ型の機器に更新した事業の効果把握調査などを支援する。

(4) フードマイレージ・自然エネルギーをテーマとした温暖化防止活動の実践

地球温暖化防止活動推進員や他団体と連携して作成したフードマイレージ学習教材を用いて、府民のフードマイレージへの理解を高めるとともに、買い物に係る自転車や公共交通機関の利用を促進するための啓発活動を行う。

また、大阪府土地改良区と連携し、土地改良区が管理する水路に小水力発電機を設置し、自然エネルギーの理解を高めるとともに、省エネに関する啓発活動を行う。

(5) 地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業

- ・大阪府温暖化防止活動連絡調整会議の設置と開催運営業務
- ・日常生活での温室効果ガス排出抑制のための照会、相談、助言、排出実態把握、分析業務
- ・推進員との連携、調査及び啓発、広報業務
- ・地域における地球温暖化対策の現状、推進状況に関する啓発広報等業務
- ・民間団体等における地球温暖化防止活動の実態把握及び活動支援業務

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> III、IV

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> III、IV

【平成24年度活動報告】

大阪自動車環境対策推進会議では、大阪における大気汚染や騒音等の自動車公害防止に関する対策とともに、自動車に係る地球温暖化対策について、官民が一体となって、総合的な施策を積極的に推進しています。

平成24年度は、事業者におけるエコカーの活用やエコドライブの実践、公共交通機関の利用を促すため、「おおさか交通エコチャレンジ推進運動」（平成23年8月創設）を推進し、当該運動に取り組む事業者を募集・登録するとともに、登録事業者名やその取組内容等をホームページで公表するほか、出前講習会などのエコドライブに関する技術的な支援を実施しました。また、優れた取組みについて、①エコカー使用等の推進、②エコドライブの推進、③公共交通機関利用の推進、それぞれ積極的に取り組む事業者を1社ずつ選定し、「おおさか交通エコチャレンジ賞」として表彰を行いました。

また、環境にやさしいエコカー（ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、電気自動車、クリーンディーゼル乗用車、プラグインハイブリッド車、超低燃費車等）の包括的・中長期的な普及戦略である「大阪エコカー普及戦略」に基づき、エコカーの普及促進を図りました。

さらに、上記の取組みに加えて、公共交通機関の利用促進、流入車規制などについて、府民、事業者に対する啓発活動を行いました。



おおさか交通エコチャレンジ
推進運動表彰式



エコカー展示会・試乗会

【平成25年度活動方針】

大阪における大気汚染や騒音等の自動車公害防止に関する対策とともに、自動車に係る地球温暖化対策について、官民が一体となって、総合的な施策を積極的に推進していきます。

平成25年度は、事業者におけるエコカーの活用やエコドライブの実践、公共交通機関の利用を促すため、引き続き「おおさか交通エコチャレンジ推進運動」に取り組む事業者の募集に努めるとともに、推進事業者の優れた取組みを顕彰する「おおさか交通エコチャレンジ賞」の実施により、取組み事例の周知と推進運動の拡大を図ります。

また、エコカーの普及、流入車規制、公共交通機関の利用促進等について、ポスターやリーフレット、構成員の広報誌や機関誌、研修会等を通じて、事業者や府民に対する啓発活動を行います。

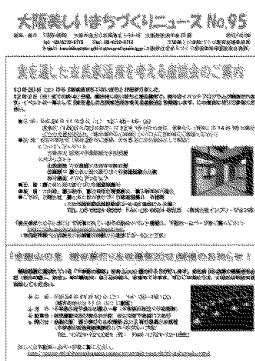
<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> IV、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> IV、その他

平成24年度は、大阪美しいまちづくりニュースの発行や参画団体の取り組み内容の情報発信、景観づくり研修会の開催により、広く府民や事業者等との協働を進めながら、景観づくり活動を推進してきました。

また、大阪府内にある美しいまちなみを改めて見つめなおし、守り育てるため、また、広く知ってもらうため、府民投票等より平成18年度に選定した「大阪まちなみ百景」等の更なる活用に向け、スマートフォンのアプリ「ふらっと案内」で見ることができる「大阪ミュージアムモバイルガイド」への掲載について働きかけを行いました。

事務局では、グリーン購入推進運動やスイッチオフ推進運動に取り組むとともに、参画団体に対しても共通行動の実践を呼びかけています。



平成25年度もより一層、府民・事業者・行政の協働による景観づくりを推進するとともに、より実効性あるものとして推進していくため、積極的な情報発信に努め、「美しい世界都市大阪」の実現を目指します。

昨年度に引き続き、大阪美しいまちづくりニュースの発行や参画団体の取り組み内容の情報発信、景観づくり研修会の開催、「大阪まちなみ百景」の活用等の取り組みにより、広く府民や事業者等との協働を進めながら、景観づくり活動を推進していきます。

参画団体の活動をさらに充実したものへとするためにも、参画団体同士の連携したイベントの実施や共通の問題意識等を抱えた団体の意見交換等の場の設置、関係市町村との連携促進等を検討していき、実施していきます。

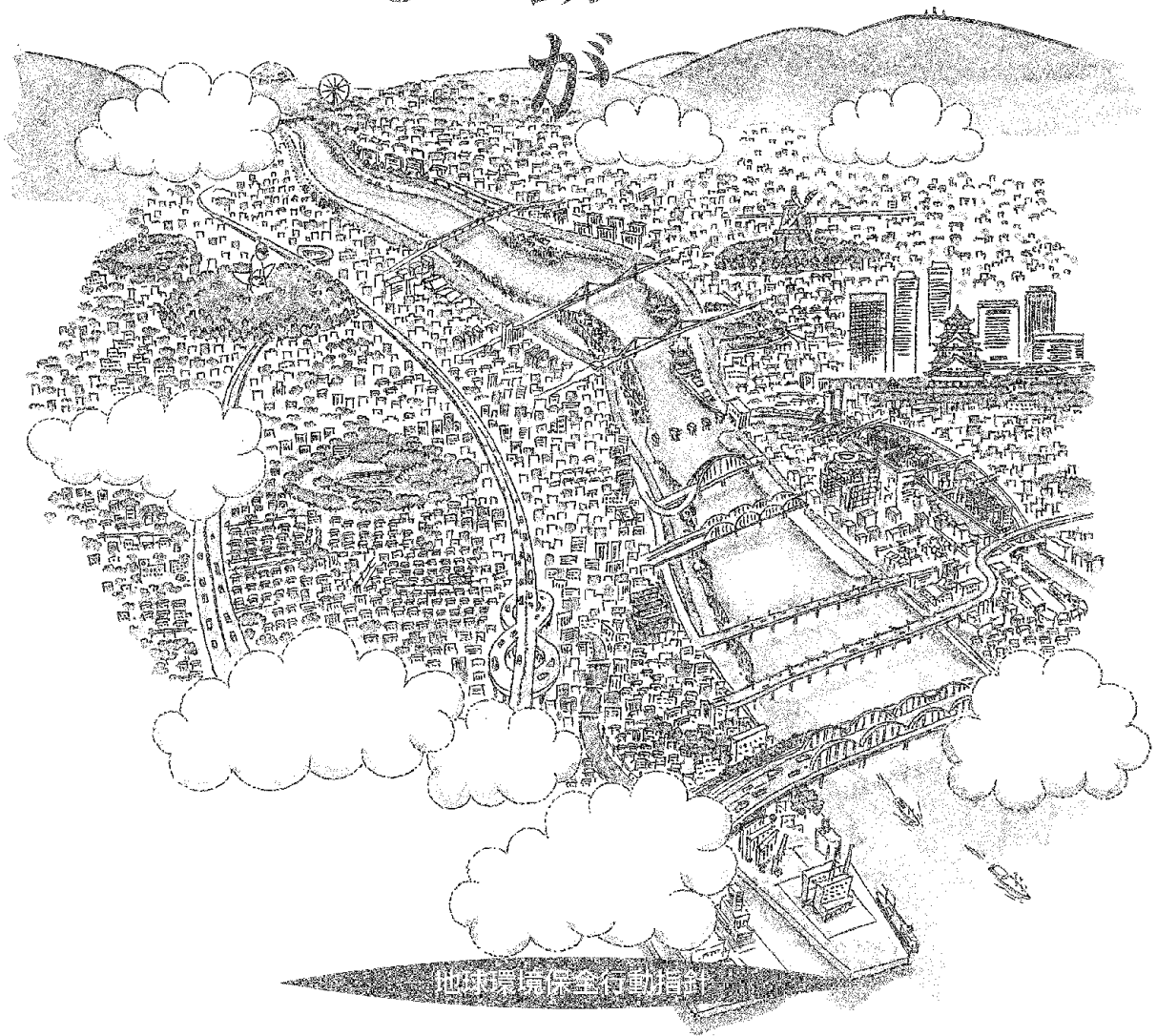
事務局では、引き続きグリーン購入推進運動やスイッチオフ推進運動に取り組むとともに、参画団体に対しても共通行動の実践を呼びかけていきます。

<平成24年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、その他

<平成25年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、その他

【資料編】

身近な環境
愛する心と行動が
地球環境を守る



はじめに

あふれるような緑、鳥やトンボたちが自由に青い空を舞い、きれいな川には魚が泳いでいる、多くの生命が輝いている環境。それは、私たち人間にとっても、心地よい豊かな環境です。大都市に生活する私たちも多くの生物の一員であり、自然の微妙なバランスの中で生きているからです。

私たち人間は豊かな自然の仕組みを上手に利用することによって、暮らし、活動してきました。大阪は、そんな人々の営みの長い歴史を通して発展してきたまちです。

大阪ではこの100年の間に急激に都市化が進み、便利で快適な生活に、私たちは大きな自然の恵みの中で生きていることを忘れがちになっています。そして、大量にモノが生産・消費され、ゴミとなって廃棄されるなど、私たちのいろいろな活動が、かけがえのない地球の環境を壊しはじめています。

以前、身近に見かけたメダカやトンボ、カエルが、今ではあまり姿を見せなくなっています。きれいになったように見える川も、川底が汚れていたり、川に住む生き物が産卵する場所やエサになる生物が見つからないなど、生息しにくい環境になっているのです。そして、多くの生命を育む種も減ってきています。

でも、淀川では、ワンドにいる魚や渡り鳥、風にそよぐヨシ原を見つけることができます。そして、秋には美しく彩られる山もあります。

私たちが受け継いだ自然の恵みを子どもたちに伝えていくために、もっと、身近な環境を愛する美しいまちにするために、まちや暮らしを自分の感覚で感じてみませんか。

そして、豊かな環境を実現し、美しい地球を守るために、大阪人らしい合理的な精神と具体的な行動で、できることから始めてみませんか。

歩く、みる、感じることから始めませんか。

身近なところを歩いたり、みたり、感じたりしてみませんか。そして、日々の生活をみつめてみませんか。

「環境問題なんて自分とは関係ない、自分一人で考えてもしかたがない」と、

思われるかもしれません。でも、ほんとうにそうなのでしょう。

自分のいるまちや、身近な自然がもっと良くなれば、という思いはだれもがもっているはず。

もっと、良くするために、もう一度、身のまわりのようすや自分の暮らしぶりなど、

身近なことから振り返って、そして、みんなで考えてみませんか。

まず、自分の眼でみて、自分の感覚で、感じることから始めてみませんか。

あなたのいる
まちをゆっくりと
歩いてみませんか

- 家や職場のまわりを観察してみませんか
- まちの中をゆっくり歩いてみませんか
- 夜空を眺めてみませんか

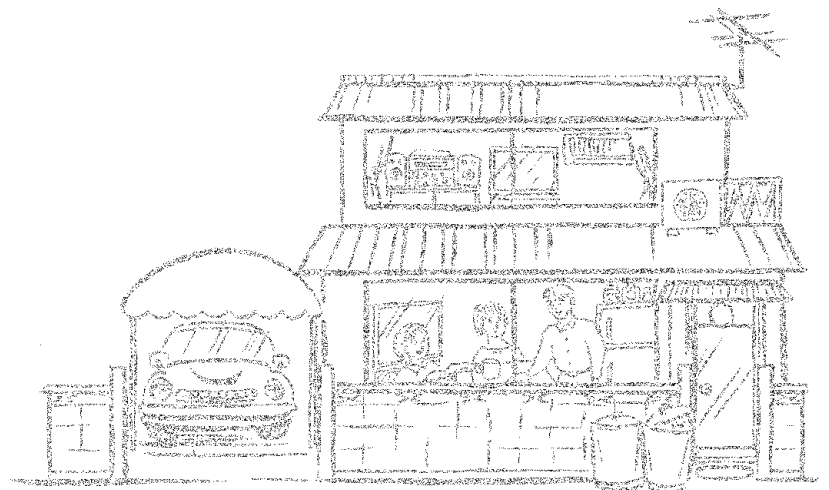
身近な自然に
ふれてみませんか

- 近くの川や池、海に行ってみませんか
- 周辺の野山をハイキングしてみませんか

暮らしや
行動スタイルを
みつめてみませんか

- 便利で快適な生活をみつめてみませんか
- 自らの行動スタイルをみつめてみませんか

あなたのまちや、身近な自然、
暮らしや行動スタイルを、
少し視点を変えて眺めてみませんか。



身近な環境はどのようにみえますか。 暮らしや行動スタイルはどうですか。

見なれたまちや公園、いつもどおりの生活。
でも、少し気分や視点を変えて身のまわりのようすをみると、
いろんな新しい発見や疑問がでてくるのではないのでしょうか。
知らず知らずに見過ごしていることはないですか。

あなたがいる あたりはどうですか

- 街なみや家なみはどうですか
- 並木道や生け垣はありますか
- 電柱や看板はどうですか
- 交通渋滞や不法駐車はありますか
- ゴミや空き缶が落ちていませんか
- においや音はどうですか
- 星座はいくつみえますか

身近な自然は どうですか

- 近くの公園や野原はどうですか
- 畑や田んぼのあぜ道、水路はどうですか
- 近くの山や森は秋に色づきますか
- トンボやチョウ、ホタルはみつかりますか
- どんな鳥や魚がいますか
- 川や池のそばに近づくことができますか
- 川や海の色は何色ですか
- 自然の砂浜や磯はありますか

（私たちはいろんなことでまわりの環境に影響を与えています。
例えば、何気なく使っているモノでも、それを作るとき、運ぶとき、
捨てるときにおきるいろんなことを考えてみましょう。）

暮らしや 行動スタイルは どうですか

- モノやエネルギー、水を大切に使っていますか
- 近くへ行くのに自動車を使っていませんか
- ゴミにならないモノ、環境にやさしい商品を選んで買っていますか
- 資源の回収やリサイクルをしていますか
- 適正な包装にしていますか
- 油を直接、台所の流しに捨てていませんか
- 環境にやさしい製品づくりやサービスをしていますか
- 環境にやさしい活動に参加していますか
- 環境教育などに取り組んでいますか

（何か新しい発見や疑問がありましたか。
どのように感じましたか。）



どうあればいいと思いますか。

子どものころや昔のようす、いろんなまちや自然のようす、
思い出したり、くらべてみるうちに、
「まちや身近な自然がこうだったらいいな」、「これから、こんなことを始めよう」など、
いろんな思いに気付く人が多いのではないのでしょうか。

こんなまち
だったら

- 気持ちのいい美しいまち
- もう少しゆとりのあるまち
- 人に迷惑をかけないまち
-
-

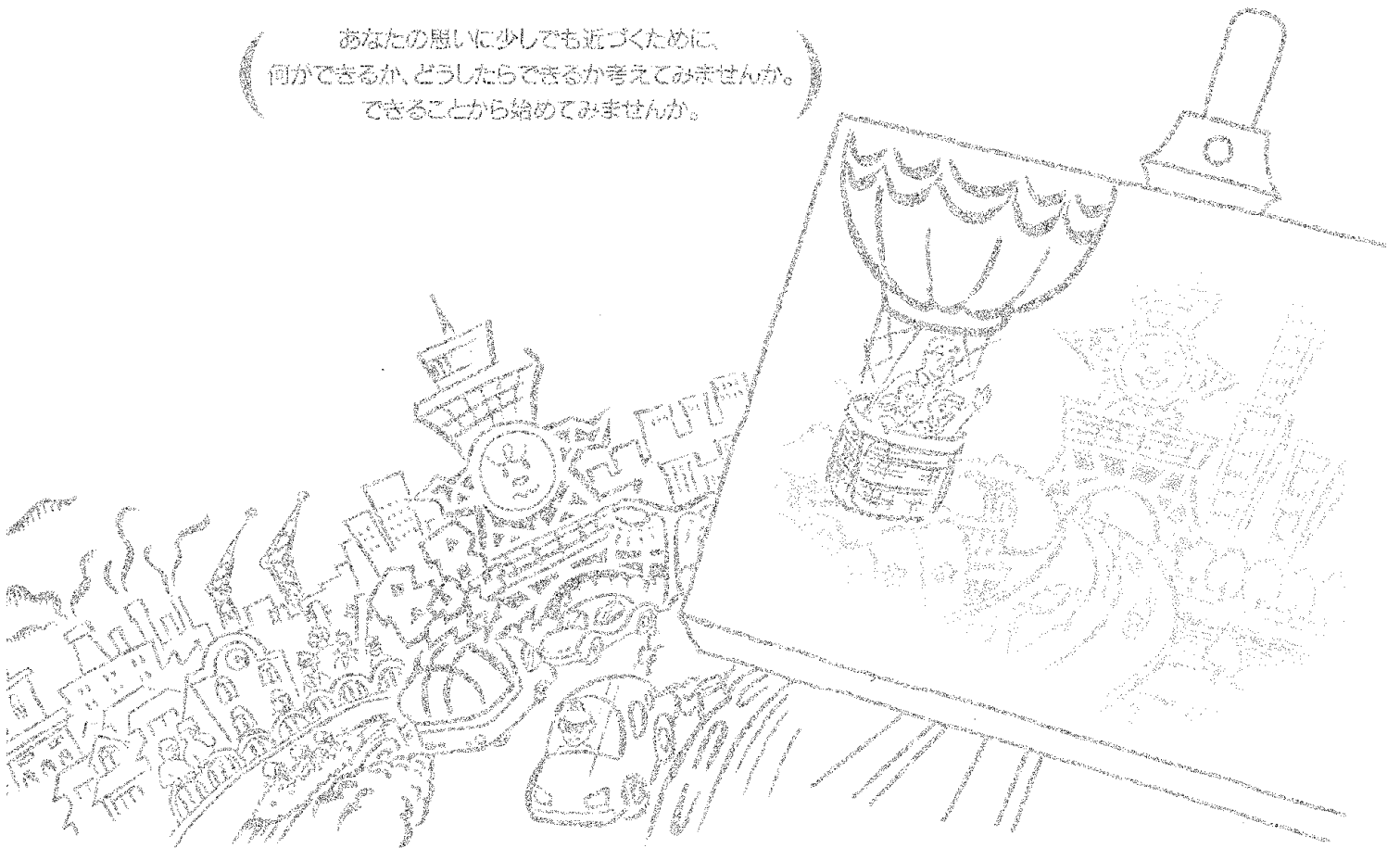
こんな身近な
自然だったら

- 小さな自然の営みを感じられたら
- 美しく変化する自然の姿を楽しめたら
- 自然のやすらぎを感じられたら
-
-

こんな暮らしや
行動スタイル
だったら

- モノや水、エネルギーをもっと節約できたら
- ゴミを減らしたり、リサイクルがもっとできたら
- 環境にいいことをみんなで考えたり、始められたら
-
-

あなたの思いに少しでも近づくために、
何かができるか、どうしたらできるか考えてみませんか。
できることから始めてみませんか。



私たちはこんなことに取り組んでいます。

環境を良くするために、いろんな取り組みが始まっています。

私たちが取り組んでいる環境にやさしい行動を中心にまとめてみました。

楽しいまちづくりを進めています

- 近くの公園の掃除をしています
- 空き缶を拾い集めています
- 捨てられた自動車の問題について調べています
- 違法駐車をなくすよう取り組んでいます
- 自動車使用の合理化を呼びかけています
- 美しい景観づくりを進める運動をしています

自然を大切にしています

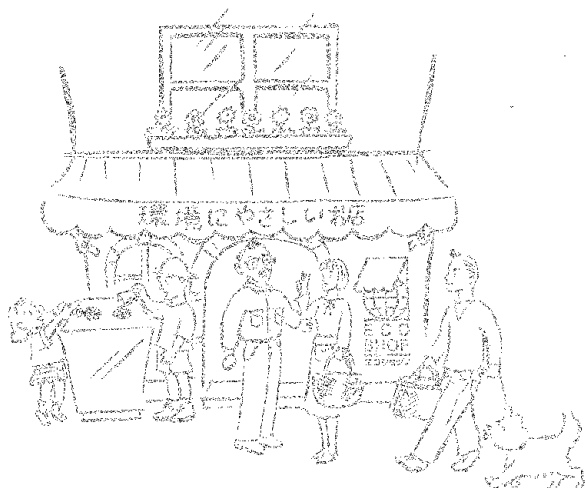
- 花や緑を植えています
- 野鳥の観察など野外で自然への理解を深めています
- プナ林や貴重なチョウを守るためにトラスト運動を進めています
- 貴重な自然を守るために、データの収集をしています
- 河川浄化のための活動を進めています
- 環境にやさしい農業に取り組んでいます

暮らしや行動スタイルをみなおしています

- 古紙回収などのリサイクルを実践しています
- 包装紙・トレイなどのゴミ問題に取り組んでいます
- 簡易包装を進めています
- 再生品の利用を進めています
- 節水や節電を進めています
- エコマーク商品や低公害車の購入を進めています
- 環境にやさしい商品を販売するエコショップを展開しています
- 社内で環境管理や環境監査に取り組んでいます

行動の輪を広げています

- 取り組みや調査結果をレポートし配付しています
- シンポジウムの開催など啓発活動をしています
- 子どもたちが遊びを通じて環境を学習できる機会をつくっています
- 環境教育の指導者育成や従業員教育をしています
- 情報交換をしています
- 草の根レベルの活動を支援しています
- 地域の活動と連携しています
- 国際的な交流や協力などに取り組んでいます



いろいろなことを、もっとたくさんしていきたいのです。
 「まちや自然、暮らしや行動スタイルがこうだったら」
 との想いを実現するために、
 みんなで一緒に取り組んでいきませんか。

みんなできり組んでいきませんか。

一人でもできることがあります。

例えば、環境を考えた日常の買物や生活の仕方などです。

そして、さらにみんなできり組んでいけば、

もっとたくさんのできるのではないのでしょうか。

自分の 身のまわりでは

- これからやりたいこと、やって欲しいことを話しあいませんか
- 身のまわりのこと、みんなできり組んでできることを考えてみませんか
- それぞれのできることを、お互いに協力しながらみんなできり組みませんか
- もっと多くの人に参加することの楽しさを伝えてみませんか
- いろいろな行事に気軽に参加してみませんか
- いろいろな情報を広げてみませんか
- どれだけできたか、話し合ってみませんか
- できり組んできたこと、集めた情報を将来の世代に伝えませんか

お店や 会社などでは

- 環境にやさしいサービスや商品になっているか調べてみませんか
- 生産から廃棄まで、環境にやさしい製品とは何か考えてみませんか
- 環境にやさしいサービスや製品づくりで実現できることは、すぐに実行しませんか
- 連携したらできることは、一緒にできり組みませんか
- 地域の一員として環境保全活動に参加しませんか
- できり組んでいる環境保全活動をPRしませんか
- どれだけできたかを調べて、もっとできるように考えてみませんか
- 環境を大切にすることをお店や会社になれるような体制にしませんか

地域づくりでは

- 地域の人たちが、どのような環境を求めているか調べてみませんか
- 環境にやさしい地域がどうしたらできるか考えてみませんか
- 環境にやさしい地域づくりを進めませんか
- みんながもっとできり組めるよう情報を広げませんか
- 環境学習や教育、啓発を進めませんか
- 地域活動やエコビジネスを支援しませんか
- どれだけできたかを調べて、もっとできるように考えてみませんか
- 環境にやさしい地域づくりができる体制やルールをつくりませんか

（テーマを毎年決めて、お年寄りも障害を持つ人も
子どもたちも一緒になって
みんなできり組んでいきませんか。）

行動の輪を広げませんか。

取り組みの輪を大阪全体に広げてみませんか。

私たちの日々の生活は日本中の、そして世界中の人と資源によって支えられています。

そして、私たちの環境も、他の地域や世界と密接に関係しています。

日本中の、そして世界中の人の暮らしや環境も、大阪と同じように大切なものです。

それぞれができることを、お互いに協力しながら取り組んでみませんか。

取り組みの輪を
大阪全体へ
広げてみませんか

- 地域の人やお店や会社、グループが一緒になって取り組んでみませんか
- 取り組みの輪を、地域から市町村全体に、そして大阪府全域に広げてみませんか
- いろいろな取り組みを一つの大きな力にして、豊かな環境都市大阪をつくっていきませんか

さらに日本中の、
世界中の人と
取り組んで
みませんか

- 日本中の、世界中の人がどんな取り組みをしているか学んでみませんか
- 大阪でやっていることを知ってもらいませんか
- 協力してできることは何か考えてみませんか
- それぞれのできることを、お互い協力しながら取り組んでみませんか

いろんな地域や国々の人、グループ、企業、自治体との出会いでは、まず相手のことを知り、自分たちのことを知ってもらうことが第一歩です。その中から、新たな輪を広げていきませんか。

自分たちが住む心と行動、その輪の広がりが地域環境を守る。



みんなの行動が地球環境を守ります。

「お月さんが笠をかぶると明日は雨」、「なすびの豊作は稲の豊作」、「木のでっぺんの柿は鳥の神さんに」。かつて日本では、いろいろないいつたえやことわざで自然の仕組みを教え、人々は自然の循環を上手に利用することで豊かな自然と共に暮らしてきました。そして、モノの命を大事にし、意み深い自然、恐ろしい自然を日々の生活に感じていました。

現在の私たちは、どうでしょうか。何気なく読んでいる新聞や雑誌、おいしくいただいている食事、快適なドライブ。豊かな生活を支えるための生産活動や流通。それらに使う資源やエネルギーの多くは、世界中から大阪に集められたものです。

何気なく送っている生活や活動によって、世界の入々の暮らしや、森林や海、動物などの生命に大きな影響を及ぼすだけでなく、将来の世代にも影響を与えると心配されています。昔の生活で大切にされていたもの、時間のゆとりや自然の豊かさ、人間関係の細やかさ、そういうことが、本来の豊かな生活だということを、もう一度、思いをおしてみませんか。今までどおりの生活を送っているだけでは、私たち人間が生活できる地球ではなくなるかもしれません。

身近な環境を、自分の眼でみて、感じる。暮らしや行動スタイルをみつめる。そして、新しい発見や疑問に気付くことで、環境を良くしていくために、暮らしや行動について、できることから具体的に取り組みを始めていく。そんな、小さな取り組みが積み重なって大きな力となり、地球環境を守ることに考えています。

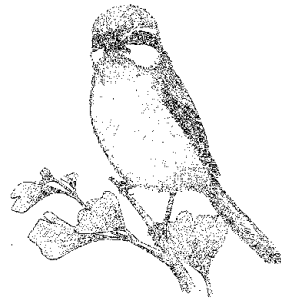
——— 小さな行動の一つひとつから地球にやさしい 環境都市・大阪 ———

——— 身近な環境を愛する心と行動 その輪の広がりか地球環境を守る ———

——— 顧られた地球 その豊かさを引き継ぐ美意識 シンプルライフ ———

私たちは、今後、この行動指針をもとに目標を決め、その実現のために具体的な行動計画をつくって、実践的な取り組みを始めたいと思います。

みんなが取り組まれますか。



豊かな環境づくり大阪府民会議

大阪21世紀の新環境総合計画（概要）

■計画の位置づけ

豊かな環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境基本条例に基づき策定するもの。また、大阪府の2025年の将来の姿を現した「将来ビジョン・大阪」に示された「水とみどり豊かな新エネルギー都市」実現の道筋を具体化し、広く大阪府の環境施策に関する基本方針や具体的手順を示すもの。

◇大阪府の環境を取り巻く課題

地球温暖化の防止

世界の温室効果ガスの排出量は、工業化以降、人の活動により増加しており、このまま放置すると、世界の気候システムに多くの変化を引き起こされる可能性がある。報告されている。高度に都市化が進み、様々な産業が集積している大阪からは、温室効果ガスが多く排出されている。

資源の循環的利用

わたしたちの暮らしを支えている鉱物・石油などの天然資源は有限である。人口の集中する大阪では、多くの資源が消費されており、家庭や事業場から出る廃棄物は、リサイクルや減量化された後、大阪湾に設けられた処分場等に最終処分されているが、その容量には限界がある。

生物多様性の保全

人の活動の影響等により、多くの生き物が絶滅の危機に瀕しており、生物多様性の保全が課題となっている。大阪では都市化の進展等により良好な生態環境が損なわれ、人と自然のつながりも希薄になっている。

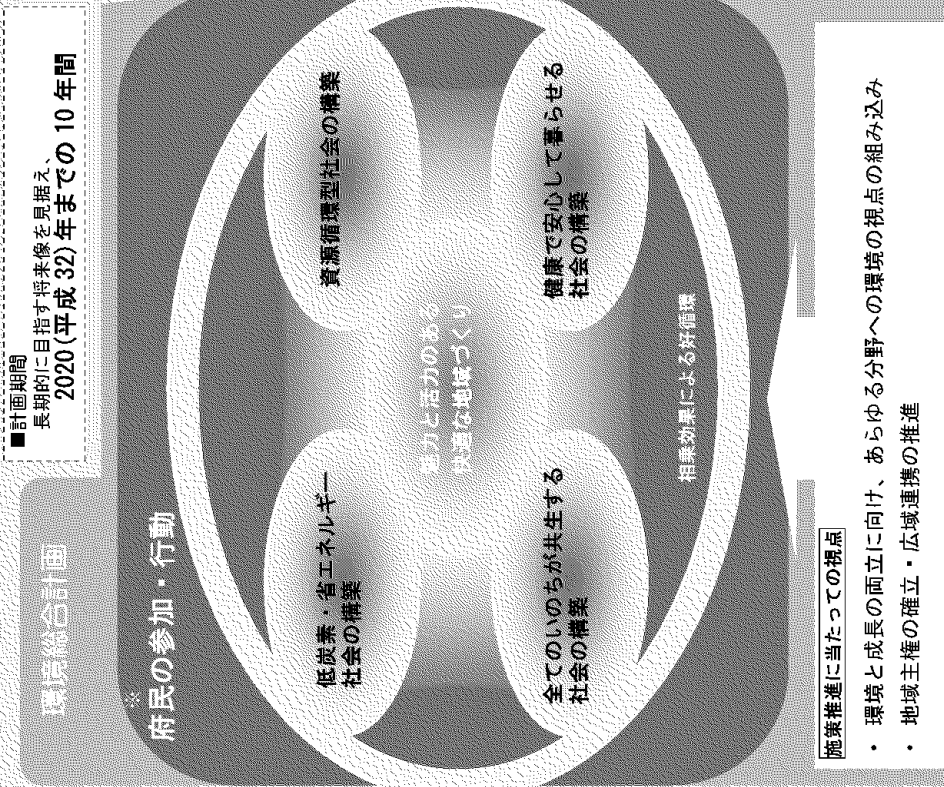
健康的な暮らしの確保

大気環境や水環境は改善が進んでいるが、光化学オキシダントや大阪湾の水質など、環境保全目標の達成が困難な項目もある。また、事業活動や日常生活の中で、様々な化学物質が製造され、使用されており、環境や人への影響が懸念されるものもある。

魅力と活力ある快適な地域づくり

大阪は、多くの人が住み、働き、訪れる地域であるが、ヒートアイランド現象、騒音・振動等の都市特有の問題や、「みどりが少ない」、「雑然としている」などマイナスイメージがある。

◇計画の全体構成（施策展開のイメージ）と将来像



目指すべき将来像

※府民がつくる暮らしやすい、環境・エネルギー先進都市

分野ごとの長期的将来像

（概ね2050年頃）

低炭素・省エネルギー

建物の高断熱化や機器の省エネ・省CO₂化が飛躍的に進み、再生可能エネルギーやCO₂排出量の少ない自動車などが普及しているなど、温室効果ガスの排出量が1990年度から80%削減されている。

資源循環

資源の循環的な利用が自律的に進む社会が構築され、廃棄物の排出量が最小限に抑えられている。また、生じた廃棄物はほぼ全量が再生原料として使用され、製品として購入されることにより循環し、最終処分量も必要最小限となっている。

全てのいのちが共生

生物多様性への人々の理解が進み、生物多様性に配慮した行動によって、豊かな森林、農空間、里地・里山、河川、海等が維持されている。また、生態環境を回復するための取組みが各地で行われた結果、大阪は身近に生き物と触れ合える、水とみどり豊かな都市となっている。

健康で安心して暮らせる

環境保全目標を全て満足し、澄みわたる空、深呼吸しやすくなる大気となっている。人の健康が保全されるとともに豊かな生態系が育まれ、身近に人と水がふれあえ、生活に潤いをあたえる水環境となっている。環境リスクの高い化学物質の排出削減が進むとともに、リスク管理やリスクコミュニケーションが定着し、化学物質によるリスクが最小化されている。

魅力と活力ある快適な地域

ヒートアイランド現象が緩和されるなど、快適な生活環境が確保された。みどりが多く、豊かな水辺や歴史・文化が活かされた、「暮らしやすい」「働きやすい」「訪れたい」都市となっている。

計画の効果的、効率的な推進

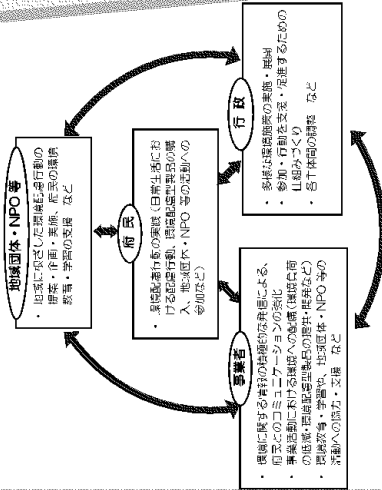
- ・ 環境と成長の両立に向け、あらゆる分野への環境の視点の組み込み
- ・ 地域主権の確立・広域連携の推進

※「府民」とは大阪府に住む人だけでなく大阪府に関わる全ての人を指す。

分野ごとの目標と施策の取組方針

市民の参加・行動

将来イメージ



- ・ 市民、地域団体・NPO、事業者、行政等の各主体が積極的に参加し、自ら行動する社会
- ・ 各主体が相互に連携して行動することにより、相乗的な効果が発揮されている社会

施策の方向

- あらゆる主体が日常的に環境配慮行動に取り組み、社会の実現を目指す、環境問題への気付きの促進と環境配慮行動の拡大に向けた取組を進める。

- 効果的な情報発信
- 環境教育・学習の推進
- 行動を支える仕組みの充実

施策推進に当たっての視点

- あらゆる分野への環境の視点の組み込み（都市構造、金融・産業など）
- 地域主催・広域連携の推進（広域連携、関西広域連合での取組み推進、市町村への権限移譲の推進など）

2020年度目標（市民に分かりやすく、進捗状況を確認し易い）

国の取組みと連動し、1990年度比で25%の温室効果ガス排出量を削減

- ・ 府域で保有される自動車のうちエコカーの割合を50%に増やす。
- ・ 府域の太陽光発電の導入によるCO₂削減量を2009年度比で30倍以上に増やす。

資源の循環をさらに促進

- ・ 一般廃棄物 リサイクル率を倍増させる。
- ・ 産業廃棄物 最終処分量をさらに削減する。
- リサイクル社会を実現するための市民行動を拡大
 - ・ リサイクル製品を購入している市民の割合を増加させる。
 - ・ 資源物を分別している市民の割合を概ね100%にする。

生物多様性の市民認知度を70%以上に 生物多様性の損失を止める行動を拡大

- ・ 活動する市民を30%増加する。
- ・ 保安林、鳥獣保護区等の地域指定を新たに約2000ha拡大する。

大気環境をさらに改善

- ・ 二酸化窒素の年平均値0.06ppm以下を確実に達成すると共に、0.04ppm以上の地域を改善する。
- ・ 微小粒子状物質(PM_{2.5})の環境保全目標を達成する。
- ・ 光化学オキシダント濃度0.12ppm(注意報発令レベル)未満を目指す。

人と水がふれあえ、水道水源となりうる水質を目指す し、水環境をさらに改善

- ・ BOD(生物学的酸素要求量)3mg/L以下(環境保全目標のB類型)を満たす河川の割合を8割にする。
- 多様な生物が棲む、豊かな大阪湾にする。
 - ・ 底層D₀(溶存酸素量)5mg/L(湾奥部は3mg/L)以上を達成する。
 - ・ 藻場を造成(藻場面積を400haを目指す)する。

環境リスクの高い化学物質の排出量を2010年度より削減

- 快適な生活環境が確保された「暮らしやすい」、「働きやすい」、「働きやすい」、「働きやすい」都市を目指す。
 - みどり豊かな自然環境の保全・再生 みどりの風を感じるネットワークの形成
 - ヒートアイランド現象の緩和
 - 騒音・振動の防止
 - 魅力ある景観の形成 歴史的・文化的環境の形成

施策の方向

あらゆる要素に「低炭素」の観点を組み入れて、低炭素化に向けた物量的な取組みを促進

- 産業・業種、住宅・建築物、運輸・交通の低炭素化
- 再生可能エネルギー等の普及
- 森林整備によるCO₂吸収の促進

生産・流通・消費・再生・処理、最終処分における資源の循環に向けた取組みを促進

- 再生原料・再生可能資源の利用促進
- 廃棄物排出量の削減
- リサイクル率の向上
- 最終処分量の削減
- 廃棄物の適正処理の徹底

生物多様性についての市民理解を促進し、生物の生息環境の保全と回復への行動を促進

- 生物多様性の重要性の理解促進
- 生物多様性に配慮した行動促進
- 府民と連携したモニタリング体制の構築
- 生物多様性保全に資する地域指定の拡大
- エコロジカルネットワークの構築推進

自動車排出ガス対策や工場等の固定発生源対策を推進

- 自動車から排出される窒素酸化物(NOx)と粒子状物質(PM)の削減対策の推進
- 微小粒子状物質(PM_{2.5})の現状把握と対策の検討・実施
- 揮発性有機化合物(VOC)の排出削減
- 建築物の解体工事に伴うアスベストの飛散防止対策の徹底

流域の特性に応じた水質、水量、水生生物、水辺等を総合的に捉えて対策を推進

- 生活排水の100%適正処理を目指した生活排水処理対策の促進や総量規制等の工場・事業場排水対策の推進
- 健全な水循環の保全・再生
- 大阪湾の環境改善対策の推進

環境リスクの高い化学物質の排出削減や、予防的取組みの推進、様々な主体の環境リスクについての理解促進

- 環境リスクの高い化学物質の排出削減
- 化学物質に関するリスクコミュニケーションの推進
- 残留性有機汚染物質や汚染土壌等の適正管理・処理

施策の効率的・効果的推進

- 複数年分の成果を評価するサイクルを追加
- 可能な限り得られた効果を数値化
- 評価資料の市民への公表及び意見募集

大阪府及び市町村の環境保全に係る取り組み状況

	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
大阪府	目標	26	対23年度比3%削減	—	—	—	—	—
	実績	23	—	597,361,522kwh	4,561,188ℓ	11,526,636m ³	6,466,803ℓ	—
大阪市	目標	27	基準年度(H21年度)に比べ9%削減(244,210t)	578,505,877kwh	441,500L	15,951,200m ³	1,000,014L	軽油 1,105,558L
		23	基準年度(H21年度)に比べ3%削減(260,312t)	616,649,122kwh	470,610L	17,002,927m ³	1,065,949L	軽油 1,178,452L
	実績	23	対21年度実績比3.9%減(257,872t)	605,372,615kwh	458,371L	17,312,505m ³	1,395,576L	軽油 1,287,443L
堺市	目標	-	策定中	—	—	—	—	—
	実績	23	204,476 t-CO ₂	136,907千kWh	80kℓ	12,049千m ³	515kℓ	熱 39,599千MJ
岸和田市	目標	-	平成13年度比6%削減	—	—	—	—	—
	実績	23	16,428t-CO ₂ (前年16,944t-CO ₂)	31,150,861kwh (前年32,456,710kwh)	165,215ℓ (前年160,370ℓ)	1,518,596m ³ (前年1,544,895m ³)	11,9411ℓ (前年118,269ℓ)	—

			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
—	—	—	H21.3 ISO14001認証 返上 H21.4より独自 システムに移 行	「温暖化対策ふちようアクションプラン～大阪府地球温暖化対策実行計画(事務事業編)～」をH24年3月に策定	・実績は「温暖化対策ふちようアクションプラン～大阪府地球温暖化対策実行計画(事務事業編)～」の対象となる事務事業による数値
—	—	—			
基準年度(H21年度201,632,544枚)以下に抑制	基準年度(H21年度8,276,085m ³)以下に抑制	①廃棄物量を基準年度(H21年度89,124t)以下に抑制 ②基準年度(H21年度67.57%)以上の紙リサイクル率	・大阪市庁内環境管理システム(独自システム)本庁舎、区役所等 ・ISO14001ごみ焼却工場(環境局)、下水道事業所(建設局)	大阪市環境基本計画(H23.3策定) 大阪市庁内環境管理計画(H23.3策定) 大阪市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(H23.3策定)	【庁内ごみの分別種類】紙類(コピー用紙、ダンボール、カラー用紙、新聞紙、封筒類)・空き缶・空きびん・ペットボトル 【ローカルアジェンダ21】「地球環境を守る身近な行動指針」(H7.5策定)
193,224,604枚	7,999,328m ³	①86,470t ②69.23%		大阪市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(H23.3策定)	
—	—	—	【認証取得】 本庁舎 H14.2 5区役所 H16.2 美原区役所 H18.2	第2次堺市環境基本計画(H21.5策定) 堺市地域省エネルギービジョン(H19.3改定) 堺市地球温暖化対策実行計画-2期計画-(H20.3改訂) 堺市環境モデル都市行動計画(H21.4策定)	○堺市地球温暖化対策実行計画-2期計画-は、平成22年度末で計画期間が満了したため、新たな「堺市地球温暖化対策実行計画」を策定中 【庁内ごみの分別種類】焼却(一般ごみ・禁忌シュレッダー・清掃工場直送)リサイクル(新聞紙・雑誌書籍・段ボール・その他紙類・シュレッダー古紙)
177t	2,701千m ³	—	【認証解除】 全庁舎 H19.2.19解除		
—	—	—	予定なし	岸和田市環境計画(H10.3策定)H20.3改定 岸和田市地球温暖化対策実行計画(区域施策)H23.5改定	【庁内ごみの分別種類】古新聞・雑誌・ダンボール・コピー用紙等・プラスチック・カン・ピン・ペットボトル
19,769,871枚 (前年23,563,950枚) (A4換算)	525,457m ³ (前年531,884m ³)	—			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
	年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他	
豊中市	目標	32	・温室効果ガス排出量 対12年度比30%削減				—	
	実績	23	・対12年度9.4%減(40,132t-CO2)				—	
池田市	目標	26	対23年度比3%削減	—	—	—	—	
	実績	23	対20年度比6.5%削減	39,424,200kWh	104,394ℓ	1,315,541m ³ (CNG17,809m ³ 含)	92,725ℓ	軽油 81,494ℓ A重油121,000ℓ LPG 7,956m ³
吹田市	目標	32	温室効果ガス排出量対17年度比25%以上削減	63,520千kWh	—	2,919千m ³	175KL	軽油60KL
	実績	23	温室効果ガス排出量対17年度比7.0%削減	71,935千kWh	1KL	3,708千m ³	211KL	軽油66KL
泉大津市	目標	25	対19年度比5%削減	対19年度比5.5%削減 (10,100,000kWh)	対19年度比6.0%削減 (50,760ℓ)	対19年度比3.0%削減 (870,000m ³)	対19年度比9.3%削減 (32,400ℓ)	軽油対19年度比9.3%削減 (10,000ℓ)
	実績	23	対19年度比5.2%削減	対19年度比7.6%削減 (9,874,538kWh)	対19年度比42.3%削減 (31,150ℓ)	対19年度比5.4%増加 (945,037m ³)	対19年度比7.8%削減 (32,922ℓ)	軽油対19年度比2.8%増加 (11,353ℓ)
高槻市	目標	25	温室効果ガス排出量対21年度比で、毎年1%ずつ削減	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量 対21年度比で毎年1%ずつ削減 ・公用車のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量 対21年度比で毎年1%ずつ削減 			—	
	実績	23	温室効果ガス排出量対21年度比7.4%削減 (23,865t-CO2)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量 対21年度比8.2%削減 (17,803t-CO2) ・公用車のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量 対21年度比5.0%削減 (6,056t-CO2) 			—	

			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
—	—	—	—	豊中市環境基本計画(H11.3策定、H23.2第2次計画策定) 第3次豊中市地球温暖化対策実行計画(H23.3策定) 豊中市地球温暖化防止地域計画(H19.11策定) 豊中市みどりの基本計画(H11.5策定) 第3次一般廃棄物処理基本計画(H23.3改定) 第3次ごみ減量計画(H24.3策定)	○ローカルアジェンダ21「豊中アジェンダ21ー地球環境を守る市民・事業者・行政の行動計画」(H11.3策定、H17.6改定、H23.6第2次ローカルアジェンダ策定) 【庁内ごみの分別種類】 ビン・カン・ペットボトル・可燃ごみ・不燃ごみ・紙
555.3t +0.2%(前年度比)	1,032,577m ³ +0.7%(前年度比)	—	—	池田市新環境基本計画(H23.3策定) 池田市地域省エネルギービジョン(H14.3策定) 池田市地域新エネルギービジョン(H20.2策定) 池田市一般廃棄物処理基本計画(H22.3策定) 第3次池田市地球温暖化防止実行計画(H24.4策定)	○ローカルアジェンダ21「池田市環境基本計画」 【庁内ごみの分別種類】 可燃ごみ、不燃ごみ、紙、ビン・カン、ペットボトル、割りばし
20,208,508枚 (A4換算)	359,878m ³	—	—	・吹田市環境基本計画(H10.8策定) ・吹田市第2次環境基本計画(H21.3策定) ・吹田市役所エコオフィスプラン(改定版)策定(H16.4策定) ・吹田市役所エコオフィスプラン(第3版)策定(H19.4策定) ・吹田市役所エコオフィスプラン(第4版)策定(H22.4策定) ・吹田市役所エコオフィスプラン(第5版)策定(H23.4策定) ・吹田市地域新エネルギー・省エネルギービジョン(H22.2策定) ・吹田市地球温暖化対策新実行計画(H23.3策定)	・左記の実績及び目標値は大阪府条例及び吹田市役所エコオフィスプラン第5版に基づく数値(府外施設含む) 電気の排出係数は、毎年、電力会社が公表する値を使用する。 エネルギー使用に伴うCO2排出量から、ごみ焼却施設の売電量に相当するCO2排出量を差し引いて算定している。 ・ローカルアジェンダ21(H17.3策定) ・【庁内のごみの分別種類】 ビン・缶・ペットボトル・紙ごみ・その他
29,142千枚	—	—	取得済 *本庁舎及び出張所(H16.7) 更新サイト拡大 認証解除 本庁舎及び3出張所 H22.6.30	泉大津市環境基本計画(H14.3策定) 泉大津市第2次環境基本計画(H24.3策定) 地球温暖化対策の推進に関する泉大津市実行計画【第3期】(H21.3策定) 泉大津市地球温暖化対策地域推進計画(H24.10策定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ごみ・空き缶・空きビン・乾電池・古新聞・古雑誌・ダンボール
対19年度比 2%削減 (4,730,000枚)	19年度の水準を維持 (217,000m ³)	—	予定なし	取得済 *本庁舎(H14.3) H24.4からは 独自システム へ移行	○ローカルアジェンダ21策定(H16.3、最新版H24.11) 名称:「たかつき環境行動計画」 ○コピー用紙使用量について ・更紙を含め「紙購入量」として把握 ・目標:【市長部局等】平成27年度までに紙購入量平成21年度比3%削減 【学校園】平成21年度実績以下 ○庁内ごみの分別種類 ・可燃ごみー大型、その他 ・不燃ごみーガラス、コップ、その他 ・リサイクルごみー古紙類、カン、ビン
37,335千枚	1,330千m ³	—	取得済 *本庁舎(H14.3) H24.4からは 独自システム へ移行	・高槻市環境基本計画(H24.3策定) ・たかつきエコオフィスプラン(H23.3策定) ・たかつき地球温暖化対策アクションプラン(H23.3策定) ・たかつき新エネルギー戦略(H24.10策定)	○ローカルアジェンダ21策定(H16.3、最新版H24.11) 名称:「たかつき環境行動計画」 ○コピー用紙使用量について ・更紙を含め「紙購入量」として把握 ・目標:【市長部局等】平成27年度までに紙購入量平成21年度比3%削減 【学校園】平成21年度実績以下 ○庁内ごみの分別種類 ・可燃ごみー大型、その他 ・不燃ごみーガラス、コップ、その他 ・リサイクルごみー古紙類、カン、ビン
対19年度比 16.6%削減 (4,030,625枚)	対19年度比 10.8%削減 (193,609m ³)	—	取得済 *本庁舎(H14.3) H24.4からは 独自システム へ移行	・高槻市環境基本計画(H24.3策定) ・たかつきエコオフィスプラン(H23.3策定) ・たかつき地球温暖化対策アクションプラン(H23.3策定) ・たかつき新エネルギー戦略(H24.10策定)	○ローカルアジェンダ21策定(H16.3、最新版H24.11) 名称:「たかつき環境行動計画」 ○コピー用紙使用量について ・更紙を含め「紙購入量」として把握 ・目標:【市長部局等】平成27年度までに紙購入量平成21年度比3%削減 【学校園】平成21年度実績以下 ○庁内ごみの分別種類 ・可燃ごみー大型、その他 ・不燃ごみーガラス、コップ、その他 ・リサイクルごみー古紙類、カン、ビン
単年度目標なし (※備考欄参照)	21年度実績以下	焼却ごみ量 対21年度比で 毎年1%ずつ削減	取得済 *本庁舎(H14.3) H24.4からは 独自システム へ移行	・高槻市環境基本計画(H24.3策定) ・たかつきエコオフィスプラン(H23.3策定) ・たかつき地球温暖化対策アクションプラン(H23.3策定) ・たかつき新エネルギー戦略(H24.10策定)	○ローカルアジェンダ21策定(H16.3、最新版H24.11) 名称:「たかつき環境行動計画」 ○コピー用紙使用量について ・更紙を含め「紙購入量」として把握 ・目標:【市長部局等】平成27年度までに紙購入量平成21年度比3%削減 【学校園】平成21年度実績以下 ○庁内ごみの分別種類 ・可燃ごみー大型、その他 ・不燃ごみーガラス、コップ、その他 ・リサイクルごみー古紙類、カン、ビン
【市長部局等】 対21年度比 5.8%増加 (20,360千枚) 【学校園】 対21年度比 0.1%増加 (51,129千枚)	対21年度比 0.9%増加 (643千m ³)	対21年度比 4.1%削減 (1,309t)	取得済 *本庁舎(H14.3) H24.4からは 独自システム へ移行	・高槻市環境基本計画(H24.3策定) ・たかつきエコオフィスプラン(H23.3策定) ・たかつき地球温暖化対策アクションプラン(H23.3策定) ・たかつき新エネルギー戦略(H24.10策定)	○ローカルアジェンダ21策定(H16.3、最新版H24.11) 名称:「たかつき環境行動計画」 ○コピー用紙使用量について ・更紙を含め「紙購入量」として把握 ・目標:【市長部局等】平成27年度までに紙購入量平成21年度比3%削減 【学校園】平成21年度実績以下 ○庁内ごみの分別種類 ・可燃ごみー大型、その他 ・不燃ごみーガラス、コップ、その他 ・リサイクルごみー古紙類、カン、ビン

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績						
	年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
貝塚市	目標	25 対21年度比4%削減(7,784,591kg-co2)	対21年度比4%削減(16,143,129kwh)	対21年度比4%削減(73,083ℓ)	対21年度比4%削減(都市ガス642,535m ³ ・LPG14,290kg)	対21年度比4%削減(61,751ℓ)	対21年度比4%削減(軽油49,190ℓ・A重油104,160ℓ)
	実績	23 対21年度比1.9%削減(7,951,132kg-co2)	対21年度比0.8%削減(16,687,883kwh)	対21年度比11.4%増加(84,826ℓ)	対21年度比都市ガス9.8%増加(735,579m ³ ・LPG4.7%増加(15,583m ³))	対21年度比3.2%増加(66,355ℓ)	対21年度比軽油13.2%削減(44,458ℓ)・A重油95.4%削減(5,000ℓ)
守口市	目標	24 対11年度比10.5%削減	対12年度比5%削減	燃料使用量として、対12年度比5%削減			
	実績	23 対11年度比38.1%削減(23,106tCO2)	対12年度比20.5%削減(26,542,302kwh)	対12年度比60.5%削減(74.6kℓ)	都市ガス対12年度比25.9%削減(569,914m ³) LPG同18.4%削減(54,462kg)	対12年度比41.5%削減(38.8kℓ)	軽油:対12年度比38.5%削減(54.4kℓ) 重油:同91.2%削減(88.42kℓ)
枚方市	目標	24 対17年度比13.4%削減(23,836t⇒20,642t)	対17年度比13.0%削減(53,619,018kwh⇒46,648,546kwh)	対17年度比55.0%削減(461,551ℓ⇒207,698ℓ)	対17年度比1.0%削減(1,242,281m ³ ⇒1,229,858m ³)	対17年度比17.5%削減(150,462ℓ⇒124,131ℓ)	軽油対17年度比2.1%以内の増加にとどめる(246,704ℓ⇒251,885ℓ)
	実績	23 対17年度比12.2%削減(20,933t)	対17年度比12.3%削減(47,040,691kwh)	対17年度比54.9%削減(208,309ℓ)	対17年度比3.2%増加(1,282,097m ³)	対17年度比17.5%削減(124,130ℓ)	軽油対17年度比10.0%増加(271,321ℓ)
茨木市	目標	29 対23年度比7%削減(75,222t)(目標値)	エネルギー削減目標(電気・ガス・ガソリン・軽油・灯油・A重油) 原油換算で対23年度比5%削減(14,305kl)(目標値)				
	実績	23 対19年度比3.4%削減(80,884t)	エネルギー削減目標(電気・ガス・ガソリン・軽油・灯油・A重油) 対19年度比11.6%削減(15,659t-CO2)				
八尾市	目標	25 平成20年度比で平成27年度までに7%以上削減	前年比1%削減	—	—	前年比2%削減	—
	実績	23 平成20年度比で2.3%削減(23,075t-CO2)	前年度比13.0%削減(1140万kWh)	—	—	前年度比9.2%削減(43.0kℓ)	—
泉佐野市	目標	25 平成23年度を基準年とし、CO2の排出を年1%の削減目標	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	—
	実績	23 大阪府温暖化の防止等に関する条例の届出では、平成20年度の排出量に比べ、6.43%のCO2を排出削減	18,994千kwh	118kℓ	(都市ガス)562千m ³ (LPガス)16t	102kℓ	—

			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
—	—	—	予定なし	貝塚市地球温暖化対策実行計画(H19.2策定) 第2期貝塚市地球温暖化対策実行計画(H22.11策定) 貝塚市地域省エネルギービジョン 初期ビジョン(H20.2策定) 重点ビジョン(H21.2策定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ、カン、ビン、ペットボトル、プラスチック類、乾電池、古新聞、ダンボール
—	—	—			
—	対12年度比 5%削減	—	予定なし	守口市 地球温暖化対策実行計画(H14.6策定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ・廃プラスチック類・新聞紙・古紙類・ビン・カン・ペットボトル、紙コップ類
—	対12年度比 36.6%削減 (371,718m ³)	古紙類のリサイクルの徹底			
対21年度比 1.5%削減 (A4換算 2,826万枚⇒ 2,783万枚)	対17年度比 14.4%削減 (398,660m ³ ⇒ 341,253m ³)	本庁・分館の可燃 ゴミ排出量を対17 年度比23.0%削減 (27.5t⇒ 21.2t)	取得済 (H13.10) 平成25年度からは 独自システムへ移行 現在、市立幼稚園、市立小中学校、市民病院の医療部門を除く全組織において認証取得	第2次枚方市環境基本計画 (H23.3策定) 枚方市地球温暖化対策実行計画(事務事業編) (H25.3 策定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ・古紙類・ビン・カン・ペットボトルなど廃プラスチック類
対21年度比 10.4%削減 (2,532万枚)	対17年度比 23.4%削減 (305,352m ³)	本庁・分館の可燃 ゴミ排出量を 対17年度比 28.9%削減 (19.6t)			
対23年度比 現状維持(印刷用 紙含む、業者発注 分除く) (54,519,050枚) (目標値) * A4換算	対23年度比 現状維持 (640,314m ³)(目標 値)	普通ゴミ排出量H 23年度比 10%削減 (388.4t)(目標値)	取得済 ※消防本部・署は 平成24年11月に、 市庁舎本館・南館 は平成25年3月に 認証登録解除	茨木市環境基本計画 (H16.3策定) エコオフィスプラン いばらき (H12.3策定) (第2版)(H15.3改正) (第3版)(H21.3改正) (第4版)(H25.3改正) 茨木市地域 エネルギービジョン (H23.2策定) 茨木市地球温暖化対策実行 計画(H24.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 新聞紙・その他の紙類・空き 缶・空きビン・ペットボトル・普 通ゴミ
対19年度比 12.6%増加 (993,516,414枚) * A4換算	対19年度比 8.6%削減(640,314 m ³)	対19年度比 23.9%削減 (431.6t)			
前年実績維持	—	— (平成25度から 実績値のみ把握 するよう変更)	KES認証更新 (平成25年3月1 日付、本庁舎及 び清掃庁舎)	環境マネジメントシステムに よる環境改善計画 大阪府温暖化の防止等に関 する条例に基づく削減計画 八尾市地球温暖化対策実行 計画(事務事業編)	※庁内ごみの分別種類 可燃ごみ、資源ごみ、複雑ご み、埋立ごみ、新聞、雑誌、 ダンボール、その他紙類 ※KES認証取得範囲(本庁 舎及び清掃庁舎)だけでなく、 全庁的に環境マネジメント システムを用いて環境改善 活動を行っている。 ※温室効果ガス排出量の算 出には、市立病院、水道局を 含む
前年度比 20.5%増加 (14,488,438枚)	—	可燃ごみ排出量 前年度比 3.1%減 (95.7t)			
—	—	—	予定なし	泉佐野市地球温暖化対策実 行計画(平成25年3月策定)	庁内ゴミの分別・可燃ゴミ ・カン・ビン、ペットボトル・ 紙類
—	—	—			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
	年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他	
富田林市	目標	28	対22年度比で毎年1%(94,720kg-CO2)ずつの削減を積み上げ、24から28年度までの5カ年で5%削減					
	実績	22	9,472,087kg-CO2	6,297,943kg-CO2	409,712kg-CO2	1,994,428kg-CO2	10,073kg-CO2	759,931kg-CO2
寝屋川市	目標	26	対21年度比 6%削減 (23,305t)	対21年度比 5%削減 (施設稼働除く) (13,164,617kwh)	燃料の使用量(自動車含む)を 概ね対21年度比5%削減 (都市ガス:815,599m ³) (LPG:15,435kg) (68,191ℓ)		廃プラスチックの 焼却量を、対21 年度比12%削減 (3,832t)	
	実績	23	対21年度比 2.3%削減 (24,235t)	対21年度比 0.8%削減 (13,752,393kwh)	対21年度比 23.9%削減 (199,666ℓ)	対21年度比 4.0%増加 (都市ガス: 892,866m ³) 対21年度比 11.7%増加 (LPG:18,153kg)	対21年度比 0.7%削減 (71,293ℓ)	対21年度比 3.1%削減 (4,218t)
河内長野市	目標	25	平成17年度を基準と して平成25年度まで に37パーセント以上 削減 (ただし、森林吸収量 含む。)	削減に努める。(平成 23年度は平成22年度 比15パーセント以上 削減)	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	—
	実績	23	—	18,279,152.4kwh	225,166.0ℓ	LPG:32,122.1kg 都市ガス: 345,770.0m ³	75,421.5ℓ	—
松原市	目標	23	—	対10年度比 概ね5%削減	対10年度比 概ね10%削減	対10年度比 概ね10%削減	対10年度比 概ね10%削減	—
	実績	23	—	10,255,839kwh 36.6%削減	8,878ℓ 35.2%削減	840,220m ³ 14.6%削減	52,342ℓ 2.1%増加	—
大東市	目標	24	—	対17年度比 6%削減 (13,248,273.3kwh)	対17年度比 6%削減 (3,169.6ℓ)	対17年度比 6%削減 (511,946m ³)	対17年度比 6%削減 (54,662.3ℓ)	—
	実績	23	—	対17年度比 6.70%削減 (13,150,126.0kwh)	対17年度比 27.82%削減 (2,434.0ℓ)	対17年度比 3.60%増加 (525,016.6m ³)	対17年度比 6.68%削減 (54,265.2ℓ)	—
和泉市	目標	25	—	本庁舎:前年比 10%削減 上下水道部庁舎: 前年比6%削減	—	18年度数値維持 (114,035m ³)	対11年度比 38%削減 (49,296ℓ)	—
	実績	23	—	対11年度比 11.7%減少 (1,284,502kwh)	—	対13年度比 14.8%減少 (87,307m ³)	対11年度比 39.9%削減 (47,766ℓ)	—
箕面市	目標	22	—	対11年度比 15%削減 (24,365,000kwh)	—	対11年度比 10%削減 (1,384,791m ³)	対11年度比 10%削減 (76,557ℓ)	—
	実績	23	—	対11年度比 1.4%削減 (28,260,232kwh)	—	対11年度比 5.5%増加 (1,622,851m ³)	対11年度比 5.6%削減 (80,274ℓ)	—

			環境マネジメントシステム認証 取得状況	環境管理に関する 計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
—	—	—	—	富田林市地球温暖化対策実行計画(第3次)(H24.3策定)	* 目標・実績は富田林市地球温暖化対策実行計画(第3次)より 【庁内ごみの分別種類】 もえるごみ、粗大ごみ、資源カン・ビン、資源ペットボトル、資源古紙古布、資源プラスチック製容器
—	—	—			
対21年度比 2%削減 (85,866,204枚)	節水に心がける (数値目標なし)	事務用品等の再生品購入推進	市役所本庁舎 H21年度に廃止	寝屋川市環境基本計画(H14.2策定) 寝屋川市役所温暖化対策実行計画(H13.2策定) 第二期寝屋川市役所温暖化対策実行計画(H17.4策定) 寝屋川市グリーン調達方針(H25.4改定) 寝屋川市環境基本計画(H23.3改定) 第三期寝屋川市役所温暖化対策実行計画(H22.4策定) 寝屋川市地球温暖化対策地域計画(H24.9策定)	【庁内ごみの分別種類】 古紙、カン、ビン、ペットボトル、一般ごみ、廃プラ
対21年度比 2.9%削減 (85,103,625枚)	—	—			
削減に努める	削減に努める	—	予定なし	河内長野市環境基本計画(H13.3策定,H23.3改訂) 河内長野市環境率先行動実行計画(H13.10策定,H21.12改訂) * 温暖化防止実行計画を含む	【庁内ごみの分別種類】 古新聞・雑誌・ダンボール・コピー用紙・カン・ビン・ペットボトル・一般ごみ ペットボトルのキャップ
—	—	—			
対10年度比 概ね10%削減	対10年度比 概ね10%削減	—	予定なし	地球温暖化対策の推進に関する松原市実行計画(H14.4策定)	【庁内ごみの分別種類】 用紙類
28,425,303枚 ※A4換算 11.0%増加	219,749㎡ 54.6%削減	—			
対17年度比 6%削減 (7,648,695.4枚)	対17年度比 6%削減 (313,051㎡)	—	予定なし	大東市環境基本計画(H18.7策定) 大東市地球温暖化対策実行計画(H14.1策定) 第2期大東市地球温暖化対策実行計画(H19.3策定) 第3期大東市地球温暖化対策実行計画(H25.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 古紙(4種類)、カン・ビン、ペットボトル、紙バック ※第3期大東市地球温暖化対策実行計画は基準年度を平成23年度とし、平成25年度から平成30年度までに温室効果ガス総排出量を6%削減する計画。
対17年度比 24.28%増加 (10,112,500枚)	対17年度比 12.76%削減 (290,526㎡)	—			
対11年度比 53%削減 (3,458,613枚) * A4換算	対11年度比 9%削減 (11,999㎡)	—	本庁舎(H13.11)	第二次和泉市環境基本計画(H23.3策定)	* 本庁舎数値 【庁内ごみの分別種類】 ダンボール・新聞紙・一般紙・雑誌類・ペットボトル・カン・ビン・乾電池
対11年度比 43.7%削減 (3,212,140枚) * A4換算	対11年度比 8.9%増加 (14,365㎡)	—			
対11年度比 5%削減 (24,869,971枚)	対11年度比 5%削減 (468,890㎡)	—	予定なし	箕面市 地球環境保全行動計画(H12.3策定) 箕面市 快適環境づくり計画(ステップ2)(H13.3策定)	○ローカルアジェンダ21「箕面市地球環境保全行動計画」(H12.3策定) ○庁内ごみの分別種類 燃えるごみ、燃えないごみ、缶、ビン、ペットボトル、紙類(再生紙等) ○箕面市快適環境づくり計画(H6.3策定)
対11年度比 21.1%増加 (31,706,912枚)	対11年度比 14.3%削減 (422,827㎡)	—			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
柏原市	目標	23	対12年度比 5%削減 (6,657t-CO2)	対12年度比 5%削減 (14,393,185kw)	対12年度 (32,210L) 10%削減	対12年度 10%削減 都市ガス (560,588m3) プロパン (22,434kg)	—	自動車燃料の総 使用量 対12年度比 5%削減 ガソリン (38,913L) 軽油 (10,487L) 重油 (4,340L)
	実績	21	対12年度比 16.9%増 (7,777t-CO2)	対12年度比 11.7%増 (16,084,005kw)	対12年度比 14.5%増加 (36,884L)	対12年度比 都市ガス 6.5%増 (596,986m3) プロパン 7.5%増 (24,113kg)	—	対12年度比 ガソリン 10.2%増 (42,896L) 軽油 281%増 (39,992L) 重油 5.5%増 (4,100L)
羽曳野市	目標	22	対13年度比 11%削減 (8,118,629g-CO2)	対13年度比 11%削減 (15,505,036kwh)	対13年度比 11%削減 (84,562ℓ)	対13年度比 11%削減 (854,020m ³)	対13年度比 11%削減 (68,643ℓ)	—
	実績	23	6,943,250kg- CO2(23.9%減)	15,346,893kwh (11.9%減)	93,719ℓ (1.4%減)	765,100m ³ (20.3%減)	57,622ℓ (25.3%減)	—
門真市	目標	25	23年度基準比 3%削減 22,456t-co2	—	—	—	—	—
	実績	24	23,716t-co2	22,006千kwh	37,000ℓ	694,000m ³	30,000ℓ	19,000ℓ
摂津市	目標	25	対22年度比 3%削減 21,700t-CO2	対22年度比 3%削減 20,827千 kwh	対22年度比 3%削減 117,159ℓ	対22年度比 3%削減 327,270m ³	対22年度比 3%削減 85,895.ℓ	—
	実績	23	対22年度比 25.9%削減 16,584t-CO2	対22年度比 5.5%削減 20,286千 kwh	対22年度比 25.4%削減 90,043ℓ	対22年度比 4.2%削減 323,254m ³	対22年度比 5.3%削減 81,369ℓ	—
高石市	目標	17	3,391トン/CO2	対11年度 概ね5%削減 (5,965,384 kwh)	対11年度 概ね5%削減 (22,536.4ℓ)	対11年度 概ね5%削減 (469,691.7m ³)	対11年度 概ね5%削減 (22,536.6ℓ)	対11年度 概ね5%削減 (軽油:3,775.7ℓ) (A重油:4,770.9ℓ)
	実績	23	2,839トン/CO2	5,550,097.7kwh	3090.2ℓ	300,235.0m ³	20,893.0ℓ	軽油:2,530.5ℓ A重油14,448.0ℓ
藤井寺市	目標	22	対10年度比 5%削減 (5,175t-CO2)	対10年度比 5%削減 (9,894,083wh)	極力削減	対10年度比 5%削減 (399,608m ³)	公用車使用量対 10年度比10%削 減(31,003ℓ) その他使用量 極力削減	軽油:公用車使 用量対10年度比 10%削減(79,130 ℓ)その他使用量 極力削減 A重油:対10年度 比4%削減(20,438 ℓ)
	実績	22	3,979t/cO2	8,986,157kwh	3,600ℓ	172,026m ³	19,105ℓ	軽油:28,873ℓ A重油:3,918ℓ

			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
対12年度比 5%削減 ※A4換算枚数	対12年度比 (250,569m ³) 5%削減	—	自己宣言 (H22.3.25)	柏原市 地球温暖化対策実行計画 (H14.3策定)	※目標を市の全ての事務事業活動での削減を取り組む (当初は新規施設は除いていた) ※ISO14001自己宣言による運用
—	対12年度比 17.9%削減 (205,764m ³)	—	—		
—	—	—	予定なし	羽曳野市地球温暖化対策 推進実行計画 (H15.3策定)	
—	—	—			
—	—	—	予定なし	第三期門真市エコオフィス計画 (平成24年6月策定) ※期間は平成24年度実績から 26年度実績の間で平成23年度 比3%の削減)	【庁内ごみの分別種類】 普通ごみ、プラスチック製容器 包装、びん・缶類、自転車類、小 型・ガラス類、ペットボトル、古 紙・古布
—	—	—			
—	対22年度比 3%削減 234,350m ³	—	環境センターに 於いてEA21認 証取得(H21年 3月)	・摂津エコオフィス推進プログラム Ⅲ (H.24年3月策定) ・摂津市地球温暖化防止地域 計画 (H23年12月策定)	※対象:全庁舎(外部職場を含 む)電気、ガス、水道等の使用量 【庁内ごみの分別】 OA用紙、新聞、雑誌、缶、びん、 ペットボトル
—	対22年度比 1.8%削減 237,207m ³	—			
対11年度 概ね5%削減 (10,264,180枚)	対11年度 概ね5%削減 (190,550.0m ³)	—	予定なし	高石市 地球温暖化対策実行計画 (H13. 11策定)	【庁内ごみの分別種類】 紙類(コピー用紙、ダンポー ル、新聞紙、本、雑誌)・空き 缶・空きびん・ペットボトル・白 色トレイ
7,141,940枚	119,512m ³	—			
対10年度比 5%削減 (19,510,557枚)	対10年度比 5%削減 (223.446m ³)	—	予定なし	藤井寺市 地球温暖化対策推進実行計 画 (H13.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 普通ゴミ、粗大ゴミ、カン、ピ ン、ペットボトル、紙、新聞、 ダンボール、乾電池
集計中	141,887m ³	—			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
東大阪市	目標	25	H22年度 (26,695t-CO ₂) 比4.95%削減	—	—	—	—	—
	実績	23	—	対17年度比 -0.4% (50,229,469kwh)	対17年度比 +10.5% (337,212ℓ)	対17年度比 都市ガス:-16.3% (3,804,499m ³) LPG:-11.1% (5,289kg)	対17年度比 -14.2% (223,400ℓ)	対17年度比 軽油:+10.2% (260,351ℓ) A重油:+22.5% (20,576ℓ)
泉南市	目標	25	前年度比-6%	8,923,101kwh	198,545ℓ	131,839m ³	—	—
	実績	23	-	9,492,661kwh	211,219ℓ	140,255m ³	—	—
四條畷市	目標	27	対21年度比温室 効果ガス排出量 5%削減 (3,564t-CO ₂)	対21年度比 5%削減 (7,997,089Kwh)	対21年度比 5%削減 (18ℓ)	対21年度比 5%削減 都市ガス:235,749m ³ LPガス:12,685kg	対21年度比 5%削減 (25,632ℓ)	軽油使用量対21 年度比5%削減 (14,576ℓ)
	実績	23	3,394t-CO ₂ 4.8%減	7,575,298kwh 5.3%減	54ℓ 200%増	都市ガス:222,093m ³ 5.8%減 LPガス:11,741kg 7.4%減	29,346ℓ 14.5%増	15,276ℓ 4.8%増
交野市	目標	27	対21年度比 温室効果ガス 排出量5%削減	対21年度比 5%削減	対21年度比 5%削減	対21年度比 5%削減	対21年度比 5%削減	対21年度比 軽油 5%削減
	実績	23	対21年度比 3.2%増 (6,229t-CO ₂)	対21年度比 1.1%削減 (14,485,498kwh)	対21年度比 2.0%削減 (181,026ℓ)	対21年度比 都市ガス:333%増 (421,352m ³) LPガス:22.9%削減 (23,948kg)	対21年度比 3.0%増 (58,055ℓ)	対21年度比 軽油:3.0%削減 (69,144ℓ)
大阪狭山市	目標	26	対21年度比温室 効果ガス排出量 5%削減	対21年度比 5%削減	対21年度比 5%削減	対21年度比 5%削減	対21年度比 5%削減	軽油、A重油、CNG 対21年度比 5%削減
	実績	23	(基準年比14.9%減) 3,876t-CO ₂	(基準年比5.1%減) 9,572,036kwh	(基準年比10.3%減) 60,396ℓ	(基準年比3.4%減) 都市ガス:246,684m ³ (基準年比24.8%減) LPガス:3,527kg	(基準年比10.9%増) 38,892ℓ	(基準年比2.3%増) 軽油:18,772ℓ (基準年比58.4%減) A重油:10,500ℓ (基準年比73.0%減) CNG:845m ³
阪南市	目標	27	対22年度比温室 効果ガス排出量 70t-CO ₂ 削減	—	—	—	—	—
	実績	23	3,032t-CO ₂	7,691,233kwh	154,687ℓ	プロパン:13,578kg 都市ガス:574m ³	32,249ℓ	軽油:55,362ℓ A重油:500ℓ
島本町	目標	23	対12年度比 温室効果ガス 排出量6%削減	—	—	—	—	—
	実績	23	10.7%減 (9,430,184kg- CO ₂)	10,036,541kwh	0ℓ	都市ガス76,327m ³ LPガス6,291kg	17,176ℓ	—
豊能町	目標	25	3,125t-co ₂	4,667,891kwh	16,265L	LPG:16,793m ³ 都市ガス:94,423 m ³	44,646L	—
	実績	23	3,157t-CO ₂	4,715,041kwh	16,429ℓ	LPG:16,963m ³ 都市ガス:95,377m ³	45,097ℓ	—

			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
—	—	—	—	東大阪市地球温暖化対策実行計画事務事業編 EACH20XX II (H24.6策定)	H23年度実績については、前計画(東大阪市地球温暖化対策実行計画EACH20XX)の実績値
—	—	—	—	—	—
1,401,058枚	164,728m ³	—	予定なし	—	—
1,490,488枚	175,243m ³	—			
※対21年度比概ね5%削減 (13,678,883枚)	対21年度比5%削減 (111,640m ³)	可燃ごみ 対21年度比5%削減 (121,609kg)	H18.4取得 ※H21.4より独自のシステム運用	第2次四條畷市地球温暖化対策実行計画(H23.4策定) 四條畷市環境基本計画(H19.6策定)	※用紙使用量には、コピー用紙のほか、定期刊行物の発行に伴う用紙使用量を含む ※四條畷市環境マネジメントシステム
15,181,013枚 11.0%増	104,866m ³ 6.1%減	98,667kg 18.9%減			
削減する	対21年度比5%削減	分別及びリサイクルの向上を図り、廃棄物の減量に努める	平成19年6月よりLAS-Eに沿ったEMSを導入し、運用している	第2期交野市エコオフィス率先行動計画(H17.3策定) ※H23年度よりエコオフィスの目標数値はLAS-Eの数値目標を準用する	H24年3月に環境基本計画を策定
—	対21年度比48.6%削減 (177,528m ³)	—			
対21年度比5%削減	対21年度比5%削減	公共工事におけるリサイクル資材使用率70%以上	EA21認証取得 (本庁舎・消防庁舎) H21.3 (保健センター) H23.3 (コミュニティセンター、老人福祉センター、心身障害者福祉センター及び母子福祉センター・障害者地域活動支援センター) H24.3 (文化会館、学校給食センター、総合体育館、池尻体育館、ふれあいスポーツ広場、公民館・図書館) H25.3	地球温暖化対策実行計画「エコプランおおさかさやま」(H13.3策定) 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(H22.12策定)	コピー用紙、水道使用量の取組結果計測及び評価は、EA21認証取得施設のうち、本庁舎、消防庁舎、保健センター、コミュニティセンター、老人福祉センター、心身障害者福祉センター及び母子福祉センター・障害者地域活動支援センターのみ集計。 【庁内ごみの分別種類】 再生可能な用紙(コピー用紙、封筒、名刺、はがき等)、再生できない用紙、ペットボトル、ビン、缶、トレイ
(基準年比1.8%増) 3,190,062枚	(基準年比3.7%減) 16,881m ³	92.6%			
—	—	—	予定なし	第3次 阪南市地球温暖化対策実行計画2011(事務事業編)(H23.4策定)	【庁内ごみの分別種類】 可燃ごみ、カン、ビン、ペットボトル、プラスチック類、新聞、ダンボール、電池、粗大ごみ
5,059,395枚	82,618m ³	—			
—	—	—	島本町環境マネジメントシステム(H24.5.1) 本庁舎、ふれあいセンター、清掃工場、上下水道部、消防本部	第三期 島本町地球温暖化対策実行計画(H24.3策定)	* 目標は第三期島本町地球温暖化対策実行計画より 【庁内ごみの分別種類】 可燃ごみ、不燃ゴミ、ビン、カン、ペットボトル、紙、ダンボール
—	—	—			
—	—	—	予定なし	第3次豊能町地球温暖化対策実行計画(速やかに策定予定)	—
—	—	—			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
能勢町	目標							
	実績						未設定	
忠岡町	目標	24	対18年度 2%削減	対18年度 1%削減 (6,320,141kwh)	対18年度 1%削減 (24,646ℓ)	対18年度 1%削減 (LPG:8,233ℓ) (都市ガス:190,670m ³)	対18年度 8%削減 (14,486ℓ)	対18年度 1%削減 (軽油:2,554ℓ) (A重油:17,758ℓ)
	実績	23	対18年度比 30%削減	対18年度比 22%削減 (4,930,486kwh)	対18年度比 11%削減 (21,827ℓ)	対18年度比 LPG:11%削減 (7,348kg) 都市ガス:83%削減 (31,611m ³)	対18年度比 23%削減 (11,108ℓ)	対18年度比 軽油:9%削減 (2,321ℓ) A重油:19%削減 (14,385ℓ)
熊取町	目標	23	対17年度比 4.2%削減 (7,502,127kg-CO ₂)	対17年度比 4.5%削減 (10,620,812kwh)	【灯油・ガス・A重油】 対17年度比 3.2%削減 (20,241,107MJ)		対17年度比 4.3%削減 (33,583ℓ)	【軽油】 対17年度比 4.3%削減 (16,069ℓ)
	実績	23	対17年度比 13.6%削減 (6,764,913kg-CO ₂)	対17年度比 13.2%削減 (9,647,937kwh)	対17年度比 12.6%削減 (18,284,513MJ)		対17年度比 4.0%削減 (33,685ℓ)	【軽油】 対17年度比 68.4%削減 (5,301ℓ)
田尻町	目標	18	対12年度比 6%削減 (1,413t-CO ₂)	対12年度比 6%削減 (2,683,449kwh)	対12年度比 6%削減 (13,677ℓ)	対12年度比 6%削減 (プロパン:457kg) (都市ガス: :160,949m ³)	対12年度比 6%削減 (12,699ℓ)	対12年度比 6%削減 (軽油:5,636ℓ) (A重油:5,170ℓ)
	実績	12	1,503t-CO ₂	2,854,733kwh	14,550ℓ	プロパン:486kg 都市ガス: 171,222m ³	13,510ℓ	軽油:5,996ℓ A重油:5,500ℓ
岬町	目標							
	実績						未設定	
太子町	目標							
	実績	23	—	526,867kwh	—	—	8,996ℓ	軽油:2,465ℓ 混合油:3ℓ
河南町	目標	26	対23年度比 3%削減 1,711,077kg-CO ₂	—	—	—	—	—
	実績	23	1,763,997kg-CO ₂	4,310,745kwh	114,973.7ℓ	LPG7,203Nm ³ + 天然ガス872Nm ³	19,299.2ℓ	軽油17,556ℓ
千早赤阪村	目標							
	実績	17		227,029kwh	1,112ℓ	1.9m ³	4,130ℓ	1,833ℓ(軽油)

			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
			予定なし	第2次能勢町環境基本計画 (H24.3策定)	第2次能勢町廃棄物(ごみ)減量計画策定(H24.3策定)
—	—	—	予定なし	第2次忠岡町地球温暖化対策実行計画 (平成19年度策定)	
—	—	—			
抑制に努める	抑制に努める	ごみの分別を徹底し、排出抑制・再資源化に努める	予定なし	第3期熊取町地球温暖化対策実行計画 (H24年3月策定)	■庁内ゴミの分別■ ①可燃ごみ ②びん類 ③紙類 ④衣類 ⑤かん類 ⑥ペットボトル ⑦プラスチック製容器包装 ⑧粗大・不燃ごみ
抑制に努める	抑制に努める	ごみの分別を徹底し、排出抑制・再資源化に努める	予定なし		
対12年度比6%削減 (1,799,630枚)	水の適正利用の推進	公共工事における環境配慮の促進	予定なし	田尻町地球温暖化対策実行計画 (H14.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 3種11品目
1,914,500枚	—	—			
			予定なし	岬町地球温暖化防止対策実行計画 (H15.3策定) 分別:可燃ごみ、資源ごみ (紙類・古着類、ペットボトル、プラごみ、空缶・空瓶)、不燃ごみ	
1,185,950枚	2,394m ³		予定なし		■庁内ゴミの分別■ ①もえるごみ ②ビン・カン ③ペットボトル ④粗大・金属 ⑤古紙
—	—	—	EA21 認証済 (H20.5.2)	平成25年1月に第2次河南町地球温暖化対策実行計画を策定	
—	—	—			
810,000枚	1,230m ³	—	予定なし		本庁舎分のみ 庁舎内の分別 ①燃えるごみ、②古紙 ③ダンボール

豊かな環境づくり大阪府民会議規約

(名称)

第1条 この会議は、豊かな環境づくり大阪府民会議(以下「府民会議」という。)と称する。

(目的)

第2条 府民会議は、地方公共団体、事業者団体、府民団体その他の団体及び学識経験者の協働により、豊かな環境の保全と創造に関する活動を積極的に推進することを目的とする。

(事業)

第3条 府民会議は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1)大阪府環境基本条例第6条に規定する豊かな環境の保全と創造に資する啓発活動等の事業を企画し推進すること。

(2)大阪府環境基本条例第19条に規定する地球環境保全に資する行動指針を策定し、地球環境保全に関する実践行動を企画し推進すること。

(構成)

第4条 府民会議は、地方公共団体、事業者団体、府民団体その他の団体及び学識経験者をもって構成する。

2 府民会議に入会しようとするもの(学識経験者を除く。)は、府民会議総会の承認を得なければならない。

3 学識経験者は、事務局長が委嘱する。

4 学識経験者の任期は2年とし、再任を妨げない。

(議長)

第5条 府民会議に議長を置き、府民会議を構成する学識経験者の委員の中から府民会議総会において選出する。

2 議長は、府民会議を代表する。

3 議長は、府民会議総会を招集し、これを運営する。

(副議長)

第6条 府民会議に副議長を置き、企画委員長をもって充てる。

2 副議長は、議長を補佐し、議長が不在のときはその職務を代理する。

(総会)

第7条 府民会議総会は、地方公共団体、事業者団体、府民団体その他の団体において選任された者及び学識経験者を委員として組織する。

2 総会は、この規約に定める事項のほか、府民会議の運営に関する重要な事項を議決する。

(企画委員会)

第8条 府民会議の事業の企画立案等を行うため、府民会議に企画委員会を置く。

2 企画委員会の委員長及び委員は、議長が指名する。

3 企画委員長が不在のときは、あらかじめ企画委員長が指名する委員が企画委員長を代理する。

(事務局)

第9条 府民会議の事務局を大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室地球環境課内に置き、大阪府環境政策監を事務局長とする。

(雑則)

第10条 この規約に定めるもののほか、府民会議に関し必要な事項は、議長が定める。

附 則

この規約は、平成6年11月10日から施行する。

附 則

この規約は、平成10年1月20日から施行する。

附 則

この規約は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成12年1月31日から施行する。

附 則

この規約は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成22年6月29日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年6月27日から施行する。

豊かな環境づくり大阪府民会議 委員名簿

平成25年6月末現在

★印は企画委員会委員

(敬称略)

【学識経験者】

(7名)

議長	(株)都市生活研究所代表取締役	篠崎由紀子
副議長 (企画委員長)	大阪産業大学大学院工学研究科教授	尾崎 博明★
	大阪府立大学名誉教授	谷田 一三★
	大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授	花田真理子★
	大阪学院大学国際学部教授	三輪 信哉★
	大阪教育大学教育学部准教授	石川 聡子★
	大阪大学大学院工学研究科助教	山口 容平★

【府民団体】

(13名)

(一社)大阪エイフボランティアネットワーク	副会長	金谷美津子
(一財)大阪府こども会育成連合会	常務理事	小川 佳映
大阪府生活協同組合連合会	事務局長	小山 正人★
大阪府青年団協議会	監事	谷村 彰紀
(一社)ガールスカウト大阪府連盟	連盟長	新家 庸子★
国際ソロプチミスト大阪	環境奉仕委員会 担当長	島岡 成子
国際ロータリー第2660地区	地区社会奉仕委員会・環境担当	佐藤 剛司★
		(7/1～中嶋 英貴)
なにわの消費者団体連絡会	事務局長	岡本 孝子★
(公社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会	副会長	岩井 俊晴
日本ボーイスカウト大阪連盟	事務局長	福田 雅之
日本野鳥の会大阪支部	支部長	橋本 正弘★
日本労働組合総連合会大阪府連合会	副事務局長	田中 宏和
ライオンズクラブ国際協会 335-B 地区	環境保全委員長	橋本 茂春

【事業者団体】

(9名)

(公社)関西経済連合会	理事	藤原 幸則★
(一社)関西経済同友会	事務局次長兼企画調査部長	松尾 康弘
大阪商工会議所	経済産業部長	中川 正隆
(公社)大阪府工業協会	専務理事	中村 尚司
大阪府中小企業団体中央会	事務局長	山野 義雄★
近畿百貨店協会	事務局長	引原 清晴
日本チェーンストア協会関西支部	事務局長	南野 和人★
大阪府小売市場総連合会	会長	森本 純二
大阪府商店街連合会	事務局長	満園 賢司

【関連団体等】

(5名)

地球環境関西フォーラム	理事・事務総長	枚田 哲郎★
(公財)大阪みどりのトラスト協会	常務理事兼事務局長	平田 通文
大阪府地球温暖化防止活動推進センター	参事	高見 勝重★
大阪自動車環境対策推進会議	環境管理室交通環境課長	兒玉 光剛
大阪美しい景観づくり推進会議	事務局・建築指導室建築企画課長	寺本 武司

【行政】

(5名)

事務局長	大阪府	環境政策監	角 善啓
	大阪市	環境局環境施策部長	高野 修一
	堺市	環境局環境保全部長	池田 浩一
	泉南市(市長会会長市)	市民生活環境部長	知久 孝
	千早赤阪村(町村長会会長村)	住民課長	尾谷 肇

豊かな環境づくり大阪府民会議構成団体の連絡先（平成 25 年 6 月末現在）

【府民団体 13】

団体名	委員名	所在地	連絡先
(一社)大阪エイフボランティアネットワーク	副会長 金谷美津子	〒593-8324 堺市西区鳳東町4丁390-1 泉北府民センタービル3階	TEL 072-289-5146 FAX 072-289-5147
(一財)大阪府こども会育成連合会	常務理事 小川 佳映	〒556-0021 大阪市浪速区幸町2-7-3 りそな・アルテ桜川ビル2階	TEL 06-6561-0051 FAX 06-6561-0053
大阪府生活協同組合連合会	事務局長 小山 正人	〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内	TEL 06-6762-7220 FAX 06-6762-7296
大阪府青年団協議会	監事 谷村 彰紀	—	—
(一社)ガールスカウト大阪府連盟	連盟長 新家 庸子	〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル 4階	TEL 06-6648-5757 FAX 06-6648-5858
国際ソロプチミスト大阪	環境奉仕委員長 島岡 成子	〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルビル403号室	TEL 06-6448-1121 (内) 3880
国際ロータリー第2660地区	地区社会奉仕委員会 環境担当 ~6/30 佐藤 剛司 7/1~ 中嶋 英貴	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階	TEL 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661
なにわの消費者団体連絡会	事務局長 岡本 孝子	〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内	TEL 06-6762-7220 FAX 06-6762-7296
(公社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会	副会長 岩井 俊晴	〒559-0034 大阪市住之江区 南港北1-13-65 南港コスモプラザビル4階	TEL:06-6613-0053 FAX:06-6613-0063
日本ボーイスカウト大阪連盟	事務局長 福田 雅之	〒543-0052 大阪市天王寺区大道5-4-6 大阪スカウト会館	TEL 06-6770-0043 FAX 06-6770-0044
日本野鳥の会大阪支部	支部長 橋本 正弘	〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町6-16 NEXT21 1階	TEL 06-6766-0055 FAX 06-6766-0056
日本労働組合総連合会大阪府連合会	副事務局長 田中 宏和	〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-7 大阪赤十字会館5階	TEL 06-6949-1105 FAX 06-6944-0055
ライオンズクラブ国際協会335-B地区	環境保全委員長 橋本 茂春	〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-4-8 瓦町4丁目ビル2階	TEL 06-6222-7331 FAX 06-6222-7336

【事業者団体 9】

団体名	委員名	所在地	連絡先
(公社)関西経済連合会	理事 藤原 幸則	〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル30階	TEL 06-6441-0102 FAX 06-6441-0443
(一社)関西経済同友会	事務局次長 兼企画調査部長 松尾 康弘	〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階	TEL 06-6441-1031 FAX 06-6441-1030
大阪商工会議所	経済産業部長 中川 正隆	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8	TEL 06-6994-6300 FAX 06-6944-6249
(公社)大阪府工業協会	専務理事 中村 尚司	〒541-0053 大阪市中央区本町4-2-5 本町セントラルビル6階	TEL 06-6251-1138 FAX 06-6245-9926
大阪府中小企業団体中央会	事務局長 山野 義雄	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4370 FAX 06-6947-4374
近畿百貨店協会	事務局長 引原 清晴	〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3丁目5-25 高島屋東別館5階	TEL 06-6630-7735 FAX 06-6630-7736
日本チェーンストア協会 関西支部	事務局長 南野 和人	〒580-0016 松原市上田3丁目8番28号 （株）近商ストア本店内	TEL 072-339-7015 FAX 072-339-7016
大阪府小売市場総連合会	会長 森本 純二	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4335 FAX 06-6947-4338
大阪府商店街連合会	事務局長 満園 賢司	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4334 FAX 06-6947-4338

【関連団体等 5】

団体名	委員名	所在地	連絡先
地球環境関西フォーラム	理事・事務総長 枚田 哲郎	〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル23階	TEL 06-6444-0550 FAX 06-6444-0611
(公財)大阪みどりのトラスト 協会	常務理事 兼事務局長 平田 通文	〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟11階西	TEL 06-6614-6688 FAX 06-6614-6689
大阪府地球温暖化防止活動推進 センター	参事 高見 勝重	〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 （一財）大阪府みどり公社内	TEL 06-6266-1271 FAX 06-6266-8665
大阪自動車環境対策推進会議	交通環境課長 兒玉 光剛	〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎21階 交通環境課内	TEL 06-6210-9586 FAX 06-6210-9575
大阪美しい景観づくり推進会議	事務局： 建築企画課長 寺本 武司	〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎27階 建築企画課内	TEL 06-6210-9718 FAX 06-6210-9714

豊かな環境づくり大阪府民会議の活動経過

平成 6年11月10日	豊かな環境づくり大阪府民会議 設立総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 府民会議の規約の制定、議長の選出等 ・ 環境基本条例第20条に規定する「地球環境保全行動指針」の策定に取り組むことを決定
平成 7年 2月 3日	第2回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地球環境保全行動指針（素案）」の検討
平成 7年 5月23日	第3回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地球環境保全行動指針」の最終案について ・ 府民会議の行動計画の策定に取り組むことを決定
平成 7年 6月 5日	“地球環境を守ろう”府民の集い <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地球環境保全行動指針」の策定
平成 7年11月 6日	第4回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画（仮称）」骨子について検討
平成 8年 3月 1日	府民会議情報誌“かんきょう夢ひろば”創刊
平成 8年 6月 5日	第5回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画」の策定
平成 8年12月17日	平成8年度大阪府ローカルアジェンダ21推進活動奨励事業の実施
平成 9年 3月28日	第6回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」実施要領を決定 ・ インターネットによる「かんきょう交流ルーム」の開設について決定 ・ 「平成9年度豊かな環境づくり大阪行動計画」構成案を決定 ・ 「豊かな環境づくり大阪府民の集い」の開催を決定
平成 9年6月5日	「かんきょう交流ルーム」開設
平成 9年 6月24日	第7回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定 ・ 「平成9年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定
平成 9年 7月24日	豊かな環境づくり大阪府民の集い <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」受賞者表彰式 ・ かんきょう講演会
平成10年 1月20日	第8回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成10年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「豊かな環境づくり府民シンポジウム（仮称）」の開催の決定 ・ 行動の支援事業の拡充等の決定 ・ 府民会議の入会規定の決定と国際ロータリー第2660地区の入会の決定
平成10年 5月 7日	第9回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成10年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成10年 6月 5日	豊かな環境づくり大阪府民の集い 第1部・「おおさか環境賞」受賞者表彰式 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境にやさしい暮らしのアドバイス ・ かんきょう講演会 第2部・炸裂！和太鼓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 爆笑！えころじ～寄席

平成11年 1月19日	<p>第10回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成11年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「豊かな環境づくり大阪府民の集い」の開催の決定 ・ 「グリーン購入啓発キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 行動の支援事業の拡充等の決定
平成11年 6月 7日	<p>第11回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成11年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成11年 6月24日	<p>豊かな環境づくり大阪府民の集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」表彰式 ・ グリーンコンシューマー入門講座 ～買物からライフスタイルを変える～ ・ 環境にやさしい商品の展示会
平成11年10月	グリーン購入キャンペーンの実施
平成12年 1月31日	<p>第12回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成12年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「グリーンコンシューマーガイドブック（仮称）作成事業」の実施の決定
平成12年 6月 8日	<p>第13回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成12年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定 ・ ライオンズクラブ国際協会 335 - B 地区の入会の決定
平成12年 6月24日	<p>グリーン購入が社会を変える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「食から環境を考えるーリサイクル料理ー」 ・ 「おおさか環境賞」表彰式 ・ シンポジウム「グリーン購入が社会を変える」
平成12年10月	グリーン購入キャンペーンの実施
平成13年 1月30日	<p>第14回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成13年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定
平成13年 5月29日	<p>第15回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成13年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成13年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成13年 6月 6日	<p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」表彰式 ・ 大阪府環境保全基金寄付者感謝状贈呈式 ・ 講演「感じとることの大切さ」
平成13年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成14年 1月18日	<p>第16回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成14年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定
平成14年 5月28日	<p>第17回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成14年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成14年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成14年 6月11日	<p>「環境を考える府民のつどい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおさか環境賞」表彰式・受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄付者感謝状贈呈式 ・ 講演「大阪の水、世界の水ー第3回世界水フォーラムの役割」

平成14年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成15年 1月21日	第18回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成15年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等
平成15年 5月19日	第19回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成15年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成15年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成15年 6月15日	環境を考える府民のつどい ～おおさか環境賞表彰式・グリーン購入シンポジウム～ <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ グリーン購入シンポジウム 基調講演「私のグリーン購入」 グリーン購入について(解説) パネルディスカッション「グリーン購入が創る持続可能な社会」等 ・ 環境配慮型商品等展示会
平成15年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成16年 2月10日	第20回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成16年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等
平成16年 6月 1日	第21回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成16年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成16年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定
平成16年 6月25日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 講演「環境にやさしいライフスタイルとふるしきの活用」
平成16年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成17年 1月31日	第22回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成17年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定 ・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等
平成17年5月31日	第23回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成17年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成17年度府民会議事業の決定 ・ 「おおさか環境賞実施要領」改正の決定 等
平成17年6月18日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「わたしのスローライフ」 ・ 取組報告「企業の立場で進めるエコライフについて」他、意見交換等
平成17年6月20日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 講演「私と自転車と地球のいい関係」、演奏会
平成17年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成18年2月8日	第24回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成18年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成18年度府民会議事業（案）について
平成18年6月6日	第25回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成18年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成18年度府民会議事業の決定

平成18年6月27日	<p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 環境保全活動の取組み報告 ・ 講演「企業の環境問題への取組みに貢献するエコファンドについて」 ・ 講演「地域に密着した環境銀行の取組み」
平成18年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成19年2月6日	<p>第26回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成19年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成19年度府民会議事業（案）について
平成19年6月7日	<p>第27回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成19年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成19年度府民会議事業の決定
平成19年6月26日	<p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表 ・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式 ・ 環境活動提案公募型補助金事業、環境教育推進モデル地域事業の取組み報告 ・ 講演「NPO等におけるマネジメントについて」
平成19年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン ～グリーン購入／NO!!包装キャンペーン～の実施
平成20年1月24日	<p>第28回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成20年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成20年度府民会議事業（案）について
平成20年9月8日	<p>第29回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成20年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成20年度府民会議事業の決定
平成20年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成21年2月10日	<p>第30回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな環境づくり大阪府民会議の運営（案）について ・ 「平成21年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成21年度府民会議事業（案）について
平成21年6月17日	<p>第31回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成21年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 平成21年度府民会議事業の決定
平成21年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成22年1月20日	<p>グリーン購入セミナー in 大阪 の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「“グリーン購入”に人類の未来がある」 ・ 事例発表 阪急阪神ホールディングス(株) 他
平成22年2月8日	<p>第32回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成22年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成22年度府民会議事業の決定
平成22年6月29日	<p>第33回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府民会議規約の一部改正 ・ 「平成22年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「環境壁紙コレクション事業」について
平成22年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成22年12月14日	<p>グリーン購入セミナー in 大阪 の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「信念に基づいてグリーン購入し、低炭素革命を進めよう！」 ・ 事例発表 JAたじま（たじま農業協同組合） 他

平成23年2月8日	<p>第34回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「環境壁紙コレクション」表彰作品の選定結果について ・ 「平成23年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成23年度府民会議事業の決定
平成23年6月28日	<p>第35回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 節電の取組みについて ・ 「平成23年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 「おおさか節電チャレンジSHOP」事業について ・ “かんきょう交流Room” 掲示板「エコ交流ボックス」の閉鎖について
平成23年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成23年11月30日	<p>グリーン購入セミナー in 大阪 の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「3. 11後のグリーン購入」 ・ 事例発表 佐賀市、帝人ファイバー(株)、(株)タカラトミー
平成24年2月9日	<p>第36回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「環境壁紙コレクション」表彰作品の決定 ・ 「平成24年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成24年度府民会議事業の決定 ・ 府民会議の組織変更及び府民会議規約等の一部改正
平成24年6月28日	<p>第37回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「平成24年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 大阪府における環境施策の取組状況に係る意見交換 ・ 今夏の節電対策について
平成24年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成25年2月13日	<p>第38回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「環境壁紙コレクション」表彰作品の決定 ・ 「平成25年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定 ・ 平成25年度府民会議事業の決定 ・ 府民会議規約等の一部改正 ・ 今後の府民会議について意見交換
平成25年6月27日	<p>第39回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <p><第1部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「発掘！おおさかエコ事典」事業実施の決定 ・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画」策定 ・ 府民会議規約等の一部改正（報告） ・ 大阪府における環境施策の取組状況に係る意見交換 <p><第2部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「浪速、大坂、大阪の自然環境と生物多様性」 ・ 事業紹介・活動報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ パナソニック株式会社エコソリューションズ社 （平成24年度「おおさか環境賞」大賞受賞団体） ・ NPO法人中小企業サポート隊 （平成24年度「大阪府環境保全活動補助金」交付団体） 他

豊かな環境づくり大阪府民会議のホームページ

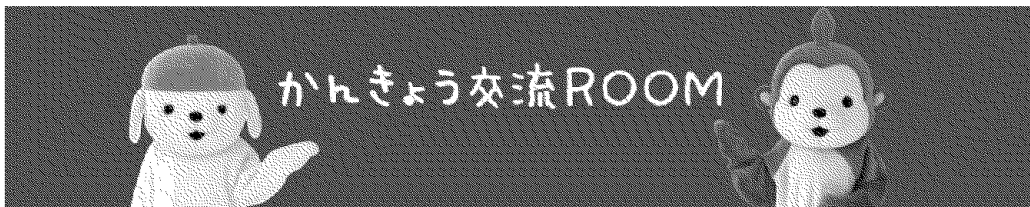
かんきょう交流Room

<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/index.html>

かんきょう交流ルーム

検索

- “かんきょう交流Room”は、豊かな環境づくり大阪府民会議のホームページです。
- 「豊かな環境づくり大阪行動計画」のページでは、本冊子の内容に加えて、府民会議の各構成団体が実施している実践活動について個別具体的に紹介しています。
- また、府民会議が主体となって実施している事業についてもその内容を詳しく紹介しているほか、府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」も掲載しています。
- 是非、“かんきょう交流Room”をご覧いただき、本冊子と併せてご活用ください。



豊かな環境づくり大阪府民会議 平成 25 年 6 月

事務局：大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室地球環境課

〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16 大阪府咲洲庁舎 22 階

TEL 06(6210)9549 FAX 06(6210)9551